

学部案内

2025



おもしろい
大学

富山大学 医学部

University of Toyama : School of Medicine

医学科

看護学科

A large circular logo for the 50th anniversary of the University of Toyama School of Medicine. The text 'University of Toyama School of Medicine' is written in a white, sans-serif font along the top inner edge of the circle. In the center, the number '50' is written in a large, white, serif font, with 'th' in a smaller font to its right. Below the circle, the word 'Anniversary' is written in a white, sans-serif font, and 'Since 1975' is written in a smaller white, sans-serif font below it. The background of the logo is a gradient of blue, and there is a silhouette of a mountain range at the bottom of the circle.

University of Toyama School of Medicine
50th
Anniversary
Since 1975



沿革

再編・統合前 富山医科薬科大学

昭和50(1975)年	富山医科薬科大学設置 医学部医学科設置
昭和51(1976)年	薬学部設置(旧・富山大学より移行)
昭和53(1978)年	和漢薬研究所(現：和漢医薬学総合研究所)設置(旧・富山大学より移行) 大学院薬学研究科(博士課程)設置
昭和54(1979)年	附属病院設置・開院
昭和57(1982)年	大学院医学研究科博士課程(生理系専攻, 生化学専攻, 形態系専攻, 環境系専攻)設置
平成5(1993)年	医学部看護学科設置
平成6(1994)年	附属病院が特定機能病院に承認
平成9(1997)年	大学院医学系研究科修士課程(看護学専攻)設置
平成15(2003)年	大学院医学系研究科修士課程(医科学専攻)設置
平成16(2004)年	大学院医学系研究科博士課程(認知・情動脳科学専攻)設置 医科学専攻と認知・情動脳科学専攻の2専攻に改組

再編・統合後 富山大学

平成17(2005)年	旧・富山大学及び旧・高岡短期大学と再編・統合し, 新・富山大学(人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 工学部, 医学部, 薬学部, 芸術文化学部)となる
平成18(2006)年	大学院薬学研究科, 大学院医学系研究科, 大学院理工学研究科を統合・改組し, 大学院生命融合科学教育部, 大学院医学薬学教育部, 大学院理工学教育部を設置
平成20(2008)年	附属病院専門医養成支援センター設置
平成22(2010)年	附属病院が富山県がん診療人材育成拠点病院に指定
平成27(2015)年	大学院医学薬学教育部博士後期課程(看護学専攻)設置 医学教育センター設置
令和4(2022)年	大学院医学薬学教育部, 大学院理工学教育部, 生命融合科学教育部を統合・改組し, 大学院総合医薬学研究科, 大学院医薬理工学環等を設置
令和7(2025)年	医学部設置50周年



c o n t e n t s

- 02 医学部長からのメッセージ
- 03 国際基準に適合した医療人養成

GUIDANCE

- 04 多職種連携教育
- 06 医学科カリキュラムの特徴
- 08 看護学科カリキュラムの特徴
- 10 基礎医学の立場から
- 12 臨床医学の立場から
- 14 社会医学の立場から
- 16 看護学の立場から
- 18 病院長からのメッセージ

TOPICS

- 20 ポストコロナ時代の医療人養成
- 21 データサイエンス教育, SDGs
- 22 ハワイ医学教育プログラム
アジア諸国との国際交流
- 23 国家試験合格への学修支援
- 24 富山県出身者を対象とする入学枠
- 25 キャリアパスとしての大学院進学（医学）
- 26 キャリアパスとしての大学院進学（看護学）
- 28 キャンパスマップ
- 30 学生生活 Q & A

-
- 32 先輩からのメッセージ 医学科
 - 34 先輩からのメッセージ 看護学科
 - 36 入学状況, 入試情報, 入学者の出身地
 - 37 国家試験合格状況, 卒業者の進路, 大学院の構成

医学部設置 50 周年を迎えて

「仁の精神」をもって地域と世界で活躍できる医療人の養成



富山大学医学部は、1975年に富山医科薬科大学医学部として開学し、設置50周年を迎えた歴史ある医学部です。「仁の精神（思いやりの心）」をもって地域と世界で活躍できる医療人の養成を使命とし、現在までに医師4181名、看護師1856名、保健師2020名、助産師140名を輩出しました。卒業生は、医療、保健、教育、研究、行政などの領域で、地域と世界で活躍しています。

富山大学医学部は、医学と薬学の融合、西洋と東洋の融合、基礎と臨床の融合を目指した富山医科薬科大学の歴史を踏まえて、富山県内の国立大学の再編・統合により日本海側有数の総合大学となったスケールメリットを生かした教育や研究、社会貢献を行っています。

学生は、人文、経済、教育、理学、工学、都市デザイン、医学、薬学、芸術の各学部の教員が開講する多種多様な教養科目の受講を通じて、豊かな人間性を涵養します。また、専門科目では、医学部と薬学部が同じキャンパスにある「地の利」を生かした医学生、看護学生、薬学生に対する合同教育の受講を通じて、現代医療に求められる多職種連携の精神を涵養します。

医学科は、日本医学教育評価機構（JACME）から国際基準に適合との認定を受けており、卒業生は米国医師国家試験の受験資格を有するなど、世界での活躍が可能です。また、文部科学省補助金「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」に選定され、オンライン診療に関する教育など、ポストコロナ時代に必要な医療人材の養成を開始しました。

看護学科は、国立大学では数少ない統合カリキュラムを採用しており、4年制課程で看護師、保健師、助産師の受験資格を同時に取得できます。看護教育の充実を目的として、日本看護学教育評価機構（JABNE）の認証取得に向けた教育改革が進められています。また、大学院修士課程に診療看護師（NP）コースを開設して、高度な看護人材養成を開始しました。

研究では、とくに脳科学領域で世界最先端の研究が行われています。また、人工知能やビッグデータによる研究も盛んに行われており、国内外から注目されています。他学部との分野融合研究や、海外大学との国際共同研究も活発に行われています。こうした研究成果を地域と連携した地域課題解決にも活用するなど、積極的に社会への還元を図ることで、社会貢献を行っています。

医療人教育の更なる充実のために、医学部設置50周年記念事業の一環として「富山大学医学部基金」を開設して、シミュレーションセンターをはじめとする教育研究環境の整備を行うなど、医学部の使命の達成に向けて鋭意邁進しています。

高度な知識と技術は、高い精神性の上に築かれてこそ、社会にとって有益なものとなります。富山大学医学部で、「仁の精神」をもって地域と世界で活躍できる医療人を目指しませんか。

皆様を心からお待ちしています。



建学理念「里仁為美」



Accredited
2023-2030



国際認証

富山大学医学部長 関根 道和

富山大学の医学教育は 国際基準に適合

全国で7番目、北陸3県で初の認定

本学の医学部は、日本医学教育評価機構（JACME）による分野別評価を受審し、2018年3月26日付で国際基準に適合していると認定されました。富山大学は、全国で7番目に審査を受け、認定は北陸3県で初めてです。

分野別評価は、米国の外国人医師卒後教育委員会（ECFMG）が「2023年以降、国際基準で認定を受けた医学部の卒業生に限り、米国医師国家試験の受験資格を与える」と通告したこと（医学教育「2023年問題」）を契機に、日本医学教育評価機構が国際基準に準拠して審査を実施しているものです。

2022年5月に2回目の受審を行い、医学部の使命や教育プログラム、管理運営などの9領域について、自己点検書による書類審査とWeb面接調査により再評価を受けました。その結果、最新の知識と技能、および、高い倫理観と温かい人間性を備えた社会貢献のできる医師や医学者を育てるために、教職員が熱意をもって医学教育を実践している点が高く評価され、認定が更新されました。

医学教育の質保証

ECFMGによる通告の背景には、新興国による医学部の乱立があります。そのため、米国では、米国内で働く外国人医師の質を担保するために、国際基準に適合した医学部を認定して、認定された医学部の卒業生のみ米国医師国家試験の受験資格を与えることにしたのです。こうした動きは、世界に波及することが見込まれています。し

たがって、今後、非認定の医学部の卒業生は、医師としての海外での活動が米国に限らず制限される可能性もあります。その意味で、富山大学の医学教育が国際基準に適合しているとの認定を受けたことは、意義が大きいと考えています。

看護学教育の質保証

医学教育の質保証の動向を受けて、看護学教育の質保証のための認証団体である日本看護学教育評価機構（JABNE）が2018年に設立されました。本学の看護学科は、2027年に分野別評価の審査を受ける予定としており、現在、認定に向けた看護学教育改革が進行中です。

私達はグローバル・スタンダードの医学教育や看護学教育を実施することで、地域と世界で活躍できる医療人を養成していきたいと考えています。



多職種連携教育

総合大学の強みを生かした 医学・看護学・薬学の合同教育が 将来の多職種連携の

礎となる

五福キャンパス
・教養教育

杉谷キャンパス
・専門教育

1年次

「医療学入門」の
合同教育

2年次

「和漢医薬学入門」の
合同教育

3年次

「疫学」「感染症」の
合同教育

4年次～

保健・医療・福祉・
介護の現場での
多職種連携教育

心事を持つ学生と交流を深めることができます。医療人は、多様な価値観と関心事を持つ患者さんを理解して寄り添う能力が必要であり、貴重な人生経験となることでしょう。

合同教育による多職種連携能力の育成

現代医療は、医師・看護師・薬剤師等医療職の高度の専門性と、それらの医療職の連携によるチーム医療の展開に特徴づけられます。

こうした多職種連携能力を身につけるために、富山大学医学部では総合大学の強みを生かした入学から卒業まで継続した合同教育を実施しています。

「教養教育」における9学部の合同教育 (1年次)

富山大学は9学部（人文学部、経済学部、教育学部、理学部、工学部、都市デザイン学部、医学部、薬学部、芸術文化学部）からなり、約8,000名の学部生と約1,300名の大学院生が3つのキャンパスで勉学に励んでいます。

すべての学部の1年次生は、五福キャンパスで一緒に教養教育を履修します。また、多数の課外活動団体が活発に活動しており、学部を超えて多様な価値観と関

「医療学入門」における 医学・看護学・薬学の合同教育（1年次）

医学・看護学・薬学の専門教育としては、多職種連携能力を涵養するために、1年次の専門教育である「医療学入門」では、合同教育が行われています。医療倫理、患者・医療従事者関係、コミュニケーション技法、障害者・高齢者の医療、薬害、医療と地域社会などを合同で学修します。また、新入生医療学研修（立山研修）、心肺蘇生講習会、介護体験実習、富山県立イタイイタイ病資料館見学などを行います。

これらの多岐にわたる合同教育により、それぞれの専

新入生医療学研修



心肺蘇生講習会



医師

卒業

看護師，助産師，保健師

薬剤師

門職の自覚が芽生えます。また、グループ学修、全体討論といった経験を通じて、「よき医療人(プロフェッショナル)」となるための総合的な能力を修得します。

「和漢医薬学入門」における合同教育 (2年次)

富山大学の特徴の1つは、「東西医学の融合」です。歴史ある世界水準の和漢医薬学総合研究所があり、また、附属病院では和漢診療科が東洋医学と西洋医学を融合した医療を実践しています。

このような富山大学の特徴を生かして、2年次の合同教育として「和漢医薬学入門」が開講されています。和漢医薬学の研究や臨床などを講義と実習により学修します。卒業生は、西洋医学だけではなく東洋医学にもとづく医療が実践できます。富山大学で学ぶ大きなメリットの1つと言えます。

また、看護学科2年次の「成人看護論I」では、看護学科と医学科の教員が連携して、講義や演習を行います。その結果、看護学と医学の考え方の共通点と相違点を踏まえた将来の多職種連携の素養が涵養されます。

「疫学」「感染症」における合同教育 (3年次)

医師や看護師、薬剤師は、科学的根拠(エビデンス)にもとづいて患者さんに最善を尽くすことが求められます。3年次の合同教育である「疫学」では、医学研究や看護学研究における調査手法、分析手法、結果の解釈を、講義と演習により学修し、人を対象とした研究にもとづくエビデンスを提供する学問を学びます。

また、世界的な新型コロナウイルスのパンデミックを受けて医学科、看護学科、薬学部で「臨床現場」をイメージした多職種連携教育が新設され、感染症に関するグループ学修が行われています。

看護学科3年次の「老年看護学総論」では、高齢者とその家族の健康及び生活の質を高めるため、多職種連携によるチームアプローチを用いた老年看護の役割について深く考える機会が設けられています。

保健・医療・福祉・介護の現場での 多職種連携教育(4年次～)

医学科は、4年次後期から、看護学科は、4年次少し前から富山大学附属病院や地域の中核病院等での実習の中で、医療チームの一員として、医師、看護師、薬剤師、介護士、事務職員などとの多職種連携による医療経験を多く積みみます。

自職種の専門性と全ての職種に必要な全人的な態度と連携能力を身につけます。このように、入学から卒業までの合同教育を通じて多様な価値観と関心事を尊重し、自職種の専門性と多職種連携能力を涵養する機会があります。地域社会や国際社会に貢献できる意思と能力を身につけることができる最適な環境が提供されています。

多職種部門ローテーション実習 (4年次～)

医学科4年次から始まる臨床実習では、令和6年度より1週間の多職種連携実習が導入されました。富山大学附属病院内の医療安全部門、地域連携部門、放射線科、薬剤部、栄養科などを中心に、医師としても重要な連携部門であるにも関わらず、その業務内容を学ぶことがほとんどない多職種の働いている部門を臨床実習の一環としてローテーションします。医師になった後にお世話になることが多いこれらの部門を学生のうちから理解できるようにしています。

医学科カリキュラムの特徴



6年一貫教育により、高度な知識と技術をもつ
人間性豊かな医師や医学者を養成します

医学科長 森永 芳智

医学科では入学から卒業まで6年間を過ごします。この6年は初年次教育から始まり、専門教育として基礎医学・臨床医学・社会医学を学び、臨床実習を経て、医師の資格に必要な医師国家試験を受験することになります。本学は医療系の学部が同じキャンパスに集まっているため、将来異なる職種に就く人たちと、学修や実習、課外活動を共に取り組む機会があります。また、希望者には在学中から研究に取り組む機会も設けられています。

初年次教育（1年次）

1年次生では、専門教育で必要となる基礎的な教養を学修するほか、皆さんが興味のある科目を選択して学修することができます。このような教養教育に加えて、医療人としての入門科目も入学直後より始まります。1年次前期の「医療学入門」は、医学科・看護学科・薬学部の学生を対象としているもので、医療を取り巻く諸問題についてグループワークを行って一緒に考えて教育が行われます。薬害、イタイタイ病、介護、心肺蘇生などについて多角的に学修し、この時期から医療人としての自覚を芽生えさせることで、医療人として必須のプロフェッショナリズムの基盤を形成していきます。後期の「医学概論」では、複数の教員が最新の医学を紹介しながら自身の医師としてのキャリアを考えていきます。



「イタイタイ病資料館見学」(医療学入門)

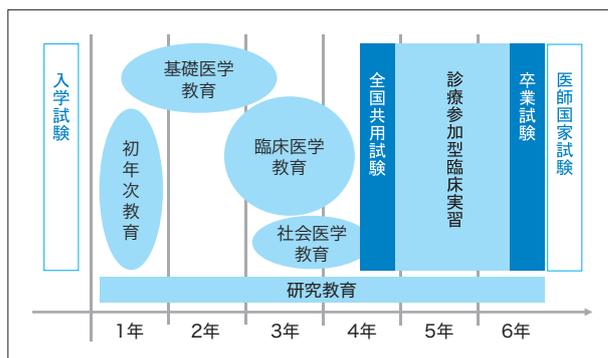
基礎医学教育（1年次後期～2年次）

1年次の後期以降になると専門教育が始まります。人体

の正常な構造や機能、生命現象を維持する仕組み、生体防御の仕組みなどについて学び、これらを基礎医学と呼んでいます。基礎医学を理解しておかなければ、病気や治療について理解することができません。具体的には、解剖学、組織学、生理学、分子生物学、微生物学、免疫学、薬理学、病理学、行動科学、放射線基礎医学などを、2年次の後期までに講義と実習を通して学修します。

臨床医学教育（3年次～4年次前期）

3年次になると、病気についての学修が始まります。すべての分野について、病気のメカニズム、分類、診断、治療、予防について学修し、これを臨床医学と呼んでいます。臨床医学では、実際に専門的に診療を行っている教員が講義を担当しますが、基礎医学で学んだことを活かしてより理解を深めるために、講義の一部は基礎医学の教員も担当します。つまり、基礎と臨床が連携して教育を行う統合型カリキュラムが特徴です。臨床医学ではすべての診療科の科目と、それぞれの診療科を支える部門である臨床検査、リハビリテーション、病理診断、放射線診断などの科目について学修します。



医学科カリキュラム概要

社会医学教育（3年次後期～4年次前期）

社会医学とは、疾病につながる背景にも視野を拡げ、社会全体の健康水準の向上を目指す医学です。例えば、ある病気についてどれほどの人がかかるのだろうか、どのようなことがその予防になるのだろうか、社会の仕組みとして解決できることがないだろうかということなどが含まれます。新型コロナウイルスの流行を通して、社会医学の重要性が認識されています。具体的には、疫学、予防医学、医学統計学、公衆衛生学、救急災害医学、病院経営学、法医学などについて講義と実習形式で学修します。地域社会との密接な連携や協働は極めて大切なため、行政機関や医師会、地域病院等の協力も得て、保健・医療・福祉・介護のシステムや連携体制を体系的に理解します。これらは3年次後期に行われ、地域の実情に合った保健医療の実践に必要な知識と技術を修得します。

診療参加型臨床実習 （4年次後期～6年次前期）

基礎医学、臨床医学、社会医学を学修したあとの4年次生の半ばには、臨床実習に参加するために必要な試験があります。この試験は全国のどこの医学部でも行われるもので、臨床実習へ進むにあたり十分な知識・技術・態度を修得しているかを全国共用試験（コンピュータによる試験（CBT）と客観的臨床能力試験（OSCE））によって評価します。



2023年度 臨床実習生（医学）証授式と式

臨床実習



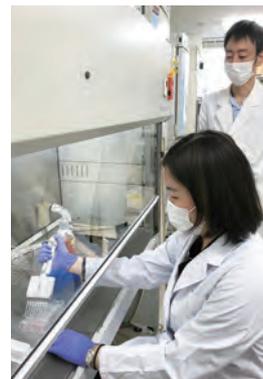
全国共用試験に合格すると、4年次生の後期からの臨床実習が始まります。臨床実習は見学ではなく、実際に診療に参加することが求められます。富山大学附属病院の全診療科を1年間かけてローテーションしながら、技術を修得し、プロフェッショナリズムを磨き、それまでの学修内容の理解を深め整理を行っていきます。さらにその後の半年は、発展

した実習形式として、希望する診療科、地域の医療機関、海外の施設で実習を行う選択制臨床実習を行います。つまり、合計約1年半をかけて実習が行われます。

その後は、卒業試験を経て、例年2月に行われる医師国家試験に向けての準備を進めていくこととなります。

研究教育（1年次～6年次）

現代の医療を支えるものは科学的根拠です。科学的根拠を生み出すには研究が必要となりますが、本学では在学中に研究を行う体制も整っています。2年次の「研究室配属」では、研究室に2か月ほど所属して研究を行い、英語文献を読む力や、データの収集・分析力、研究発表能力を養います。



研究医養成プログラムにおける研究風景

より研究志向を持つ学生は、「研究医養成プログラム」を選択し、在学期間を計画的に使用して研究を行います。通常の講義・実習以外の時間で取り組むため、試験勉強や課外活動などと両立しながら、最終的には学会発表や論文公表を行います。このプログラムを修了すると、本学の大学院博士課程（4年制）を3年間に短縮して博士号を取得することもでき、キャリアアップにつながります。

総合的な学修支援

6年間のカリキュラムを経て医師免許取得までには、あくなき向上心とたゆまぬ努力が不可欠です。そのため、本学は学生を支援する様々な環境を整えています。たとえば、24時間利用可能な図書館は、多くの学生が昼夜勉強に励む場所として利用されています。カリキュラムに係る会議は、学生と教員で話し合いながら教育の改善を図っています。また、クラス担任制度とグループ担任制度があります。前者は学年に3名の担当教員が配置され、必要に応じて修学や生活面での面談などを行っています。後者は1年次生～6年次生までの学生からなる小グループに担当教員が付き、時々集まって話をする中で、下級生が先輩や教員の話の聞いたりアドバイスをもらったることができます。お互いに支えあいながら前進していく体制があることは、本学の医学教育の特徴です。

看護学科カリキュラムの特徴

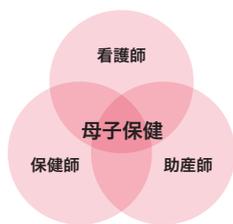


統合カリキュラムによって
時代の変化に強い医療者を養成します

看護学科長 長谷川 ともみ

統合カリキュラムの特徴

看護学教育において、保健師、助産師、看護師等の国家試験受験資格が取得できるようにカリキュラム構成されたものを統合カリキュラムと言います。国立大学でこの3つの国家試験受験資格が同時取得できるのは、本校含めて現在4校のみです。他大学では、統合カリキュラムと称していても保健師や助産師は選択になっているところが多数です。病院で勤務する看護師にとっても保健師の視点は重要であり、地域包括ケアシステムに代表されるような施策に強い看護ができることは看護職のスキルアップにもつながりますし、就職活動においても選択肢を拡げ、生涯を通じての多様化する働き方も可能にしてくれることでしょう。国家試験問題においても3つのライセンスに共通して出題される部分として母子保健があります。4年制大学で統合カリキュラムを学ぶことによって、将来、病院等で行われる委員会や研修会においてもアカデミックな発言・提案ができる能力が養われます。



1年次カリキュラム

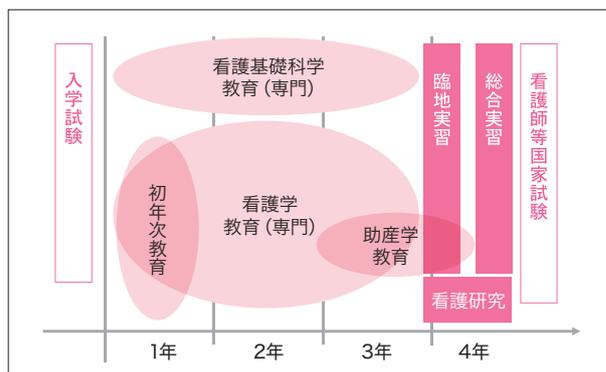
1年次の教養教育では、幅広い学問を身に付け大学生としての基礎的で汎用性のある科目を修得します。講義は五福キャンパスで行われ、他の8学部の学生とも交流しながら学修を進めることが出来ます。富山大学の学部学生は全学年で約8,000人であり、異分野交流を通して考え方の違いやお互いの学問に対しての意識を高めることもできます。教養科目には外国語系、人文科学系、社会科学系、自然科学系、理系基盤教育系、保健体育系、医療・健康科学系、情報処理系および総合科目系があり、

選択科目が中心で自分に合った科目を選択できます。特徴的なこととしては、英語教育、データサイエンス教育に力点を置いているところ、必修科目として医療学入門という医学科、看護学科、薬学科、創薬科学科が合同で受講する科目があります。また、看護学についても、1年次から看護基礎科学、基礎看護学、身近な医学が五福キャンパスで開講され素養を育てていきます。



2年次カリキュラム

2年次以降はキャンパスが杉谷に移ります。英語教育、データサイエンス教育は様々な科目の中で継続して行われますが、看護専門科目が始まることは学生にとって大きな節目となるでしょう。2年次以降はほぼ必修科目です。疾病学、薬理学、微生物学といったヒトの身体構造や機能、疾病の機序を理解すること、公衆衛生学、行動科学といっ



看護学科カリキュラム概要

た人々の行動を考える科目が入ります。また、妊婦、産婦に関する母性看護学系の講義が他の専門科目に先んじて前期に開講されます。

基礎看護学では、看護方法論で、広い実習室で援助技術に関して本格的に修得していきます。9月に基礎看護学実習が大学附属病院で行われます。

さらに、くすりの富山と言われるように、古くから和漢薬が発展してきました。その特徴に代表される和漢医薬学入門が開講され、東西医学の融合の実際を知ることが出来ます。この講義は医学科と合同です。気血水のようにヒトを統合体としてフィジカルアセスメントすることは、看護学にも通じます。2年次後期には総論や臨床医学系が中心ですが、小児看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学の講義が開講されます。臨床医学系の講義では、大学附属病院でまさに最先端の治療を行っている医師から講義を受けることが出来るので、実践的かつ最新の医療知識を吸収することが出来るでしょう。



3年次カリキュラム

3年次は専門科目がより各論的に充実するとともに、地域看護学、最近注目されている在宅・訪問看護を学ぶ在宅看護学が始まります。人の暮らしに視点が移るとも言えます。本学看護学科は、3年次編入を受け入れているので、編入生はここからがスタートです。前述のごとく、臨床看護領域にとどまらず、保健領域の全分野を網羅できるプロフェッショナルになることを目指します。保健領域では、対象者の看護診断のみならず、市町村の地区診断といった公衆衛生看護学を修得します。地区の人口、産業、健康課題など市町村そのものの特徴をデータから解析します。こういう学修をすると、今まで何気なく手に取っていた市町村の冊子やHPが如何に熟慮されて作り上げられているか感心するのではないのでしょうか。

また、3年次には選択科目がいくつかあります。助産学ゼミナール、助産概論など助産師を希望しなく



ても興味があれば選択できる科目、東洋の知と看護等です。

3年次の後半2月から本格的な臨地実習(領域別実習)も始まります。

4年次カリキュラム

4年次は主として領域別臨地実習が展開され、1グループにつき7~8人で各領域をローテーションします。小児看護学実習、母性看護学実習、成人看護学実習(周手術期・慢性期)、精神看護学実習は大学附属病院で行われるので、最先端の医療に伴った看護学を事例展開します。シャドーイングとよばれる看護師に付き添って行う見学実習も多くあるので、学生は、安心してこれまで机上で学んできたことを実際に見学し、個別性の高いケア技術の意味を再度学んで、体験型の学修を行うことができます。看護学の醍醐味ともいえる感動体験があるでしょう。在宅看護学実習、老年看護学実習、地域看護学実習は、訪問看護ステーション、老健施設、市町村等で実施されます。くらしに寄り添うという意味が体得できるカリキュラムになっています。



また、看護研究も行い、11月には看護研究論文集を作成します。この看護研究は各領域に研究室配属された学生が、学士として必要な仮説の立て方、方法論の妥当性、データサイエンスの実際、結果の示し方、看護学としての考察のあり方、論文の書き方を学ぶことができます。そこから発展させて、総合実習へと学びを深めていきます。総合実習では、仮説検証型の専門性の高い実習内容であったり、自身の看護技術を振り返り追加して実習したい内容を考えたり、基本的に学生自身が主体的に実習計画を立て自己評価していきます。

上記のように富山大学医学部看護学科においては、4年間かけて、じっくりと自分の未来を見つめることが出来ます。

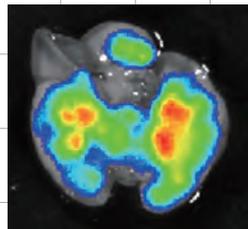


基礎医学の立場から

医療と基礎医学

医学部の使命には、良い医療人を育てるだけでなく、優れた医学研究者を育てることがあります。私たちの健康や病気についてそのメカニズムを知り、課題を解決する方法を見つけ、病気の治療法や予防法を生み出していくためには医学研究が必要です。医療の進歩は、病に悩む人に大きな希望を与え、人類の幸福につながります。研究に重点を置いて取り組む医学を基礎医学と呼びます。

富山大学の基礎医学系としての講座には、解剖学、統合神経科学、生化学、システム機能形態学、病理診断学、病態・病理学、免疫学、微生物学、分子医薬薬理学、システム情動科学、分子神経科学、臨床心理学・認知神経科学、遺伝子発現制御学、行動生理学があり、それぞれの専門性を活かしたユニークな研究が行われています。また、連携して行われる研究も活発です。



新型コロナウイルスを感染させたハムスターの肺

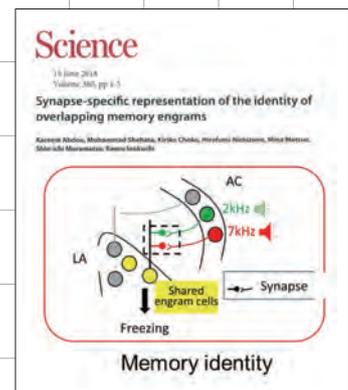
基礎医学を支える環境

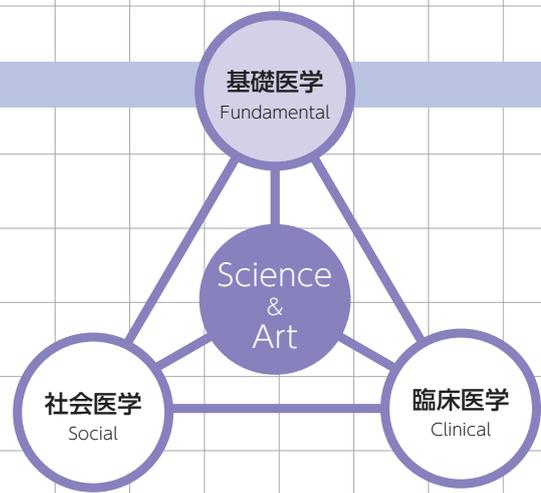
基礎研究は、新しい発見へのチャレンジです。その発見が確かであることをより確かめるためには、より細かな分析をしたり、いくつかの別の手法でも確認したりする必要があります。医学科がある杉谷キャンパスでは高価な精密機器を生命科学先端研究支援ユニットに集中させて、分子の構造解析、遺伝子実験、アイソトープ実験、動物実験が行えます。

分子・構造解析施設では、見つけてきた小さな分子の形や質量を解析して、どのような物質かを知ることができ、小さな分子間のお互いの作用を調べることができます。遺伝子実験施設には多数のPCR装置がある他、遺伝情報であるゲノムの解析ができるようになっています。アイソトープ実験施設では、放射線同位元素というものをを用いて、ごく微量な物質を捉える研究が行われています。動物実験施設では、一般的な動物実験の部屋以外に、マウスの行動を調べる部屋や、人工授精やゲノム編集などを行う部屋、感染症の研究を行う部屋などが設けられています。

このような整った環境を利用して、国際的にも評価が高い研究成果が生み出されています。特徴的な研究はより連携しながら取り組めるような体制がとられ、2020年度には睡眠や無意識状態での脳の働きとそのメカニズムについての研究を行う「アイドリング脳科学研究センター」、2022年度には感染症の治療や診断につながるような抗体の開発やメカニズムの研究を行う「先端抗体医薬開発センター」が設置されました。医療系の薬学部、和漢医薬学総合研究所だけでなく、工学部、理学部などの他の学部との連携も盛んです。さらに、データサイエンスやAIなどの分野や、医学部以外の他分野の専門家と共同で取り組むことで富山大学の基礎医学研究が進んでいます。

トップジャーナルのScience誌に掲載された脳科学研究成果

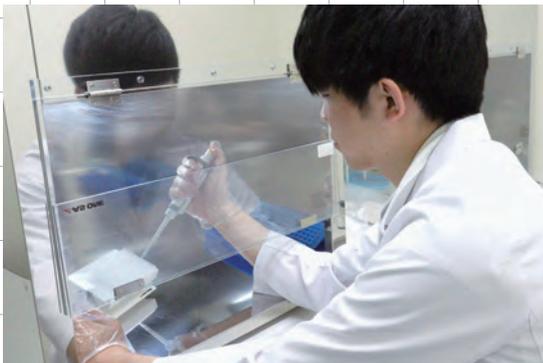




時代に柔軟に対応する基礎医学

基礎医学は、未知と戦うために人類が手にした武器とも言えます。新型コロナウイルス感染症への挑戦はまさにそのわかりやすい例です。富山大学は、PCR検査を支援する大学の成功例として文部科学省でも紹介されてきましたし、新型コロナウイルスへの免疫やワクチンの研究を通じた豊富な論文は国内の医療方針にも活かされてきました。2023年には高い病原微生物の動物実験を安全に取り扱える実験室の整備にもつながり、日本海側では随一といえる感染症研究拠点となりました。

医学研究では、基礎医学の発見が臨床で活用される



新型コロナウイルス PCR 検査の様子

ことを目指しています。富山大学の最大の特徴は、基礎医学と臨床医学の両者が連携する基盤が備わっていることにあります。臨床で明らかとなる社会的な課題を、研究を通して解決することができれば、その恩恵はダイレクトに社会に還元されます。感染症に限らず、差し迫った困難を乗り越えるという時代のニーズにも迅速に対応できる連携体制が富山大学にはあります。

生命科学と若い力

このような生命科学 (Life Science) が立ち向かうべき課題は、これからも絶えることはありません。そのためには、未知の分野に突き進んでいく意気込みをもった若い優秀な人材の参入が不可欠です。富山大学には、時間を見つけて研究活動に積極的に参加する学生もたくさんいて、基礎医学の視点をはぐくんだ医療人が育つ土壌があります。基礎研究の道のは単純なものではなく、また世界を競争相手にするチャレンジングなものです。大きな夢をもった若い皆さんの力であれば新しい扉を開けることができるでしょう。

[微生物学講座 教授 森永 芳智]



積極的に研究活動に参画する医学生

臨床医学の立場から

医学部における臨床実習

2年次までの基礎医学の知識の習得の後、3年次から臨床医学講義で臨床の知識を培います。その後4年次に行われる全国共用試験が終了すると、診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ)が始まります。学生は臨床実習生(医学)の称号を得て、講義や教科書で得た知識や技術をいよいよ実践の場で磨いていきます。まさに、これからの医師としての一生の修練の機会が始まるわけです。本学の臨床実習には、『患者は常に私たちの師である。』、『実習では常に患者を勉学の中心にしなければならない。』、『臨床実習は病気のみならず心身統一体としての人間を対象とする。患者の身になって自らを省み、絶えず感性と理性をみがく努力を怠ってはならない。』などのポリシーがあり、医学的な知識や技術のみならず、医師として必要な科学、教養、人間性について学ぶことができます。

卒後研修と専門医養成プログラム

医師免許取得後2年間の初期研修では、一人ひとりのニーズに合わせて、附属病院あるいは協力病院での研修プログラムを提供しています。富山大学附属病院の特

長の一つとして、オールラウンドな実力を身につけるプログラムや、目指す専門医に特化したプログラムなど、個人の目標に合わせたプログラムを自分自身で組めることが挙げられます。初期研修の内容やプログラムについては、卒後臨床研修センターが全面的にバックアップ、サポートします。卒後3年目以降の専門研修では、診療科に所属して専門的知識と技術を向上していきます。富山大学にはすべての専門領域における専門医養成プログラムが準備されており、臨床面でも研究面でも優れた医師を輩出する体制が整っています。

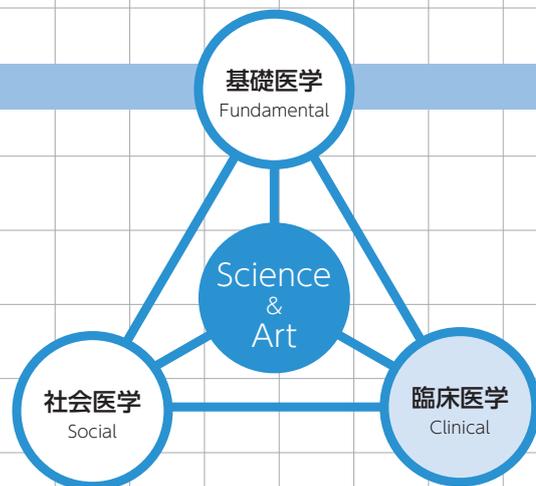
医学部の臨床講座には、糖尿病・代謝・内分泌、リウマチ・膠原病、呼吸器・アレルギー疾患を扱う内科学(第一)、循環器・腎臓疾患を扱う内科学(第二)、消化器疾患を扱う内科学(第三)、炎症性腸疾患内科、感染症学、皮膚科学、小児科学、神経精神医学、放射線診断・治療学、循環器(小児、成人)を扱う外科学(第一)、呼吸器外科、消化器・乳腺・内分泌疾患と小児外科を扱う外科学(第二)、脳神経外科学、整形外科・運動器病学、産科婦人科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、腎泌尿器科学、麻酔科学、歯科口腔外科学、臨床分子病態検査学、和漢診療学、脳神経内科学、救急医学、臨床腫瘍学があります。さらに附属病院には、血液内科、形成再建外科・美容外科、リハビリテーション科、総合診



カンファレンスでの指導風景



超音波内視鏡を用いた膵臓・胆道疾患の診療



手術に参加しての直接指導

療科、救急科があります。附属病院の病床数は612床で、患者さんへの診療はもちろん、若手の教育や基礎・臨床研究にも熱心に取り組んでいます。

先端医療を学べる附属病院

附属病院では、先端医療あるいは質の高い医療を提供するため、診療科の垣根を越えた組織が設置されています。2020年に設置された総合がんセンターには、乳がん先端治療・乳房再建センター、膵臓・胆道センター、小児・AYA世代・妊孕性センター、ロボット手術センター、放射線治療センター、血液腫瘍センター、頭頸部腫瘍センター、胸部腫瘍センター、消化器腫瘍センター、泌尿器腫瘍センター、婦人科腫瘍センター、肉腫・希少がんセンター、遺伝性腫瘍センターが含まれ、最新かつ高度ながん治療が行われています。また富山大学附属病院はがんゲノム医療拠点病院に指定されており、エキスパートパネルを通じて最先端のがん個別化治療を学ぶことができます。このほか、循環器センター、包括的脳卒中センター、周産母子センター、

総合感染症センター、痛みセンター、糖尿病センター、災害・救命センター、再生医療センター、先端めまいセンターなどがあり、いずれも県内外の患者さんが多数紹介され、専門性の高い医療を提供しています。

附属病院では、高度な先端医療機器も導入しています。例えば、手術支援ロボット“ダ・ヴィンチ”が挙げられます。従来の腹腔鏡・胸腔鏡手術に比べて精緻な操作が可能で、からだに優しく、安全・適確な手術を行うことができます。附属病院の特長としては、幅広い手術にダ・ヴィンチを適用していることが挙げられます。前立腺癌、腎癌、膀胱癌、直腸癌、食道癌、膵癌、肝癌、胃癌、肺癌、縦隔腫瘍、腎盂尿管移行部狭窄、骨盤臓器脱、など全国的に見ても多種多様な活用を行っています。このほかにも、ハイブリッド手術室を活用した大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)、超音波内視鏡、経口胆道鏡、バルーン内視鏡などを用いた膵臓・胆道疾患の診断・治療、脊椎ロボット、人工関節置換用ロボットを用いた手術、顕微鏡を用いたマイクロサージャリー、内視鏡手術、広いスペースを確保し様々な機器を備えたりハビリ室など、国内外に誇れる最新の医療技術が日々活用されています。

[整形外科学講座 教授 川口 善治]



ダ・ヴィンチの操作風景



ダ・ヴィンチ手術への参加

社会医学の立場から

～社会の健康～

社会医学とは

日本が、世界有数の長寿国になれたのは、戦後の日本社会において教育水準や経済水準の平準化が進められたことにあると考えられています。実際、欧米諸国の中で、平等主義的な政策をとる北欧諸国は、自由主義的な政策をとる米国や英国よりも、社会経済格差が小さく、教育水準が高く、乳幼児死亡率が低く、平均寿命が長いことが知られています。このように、人々の健康は、社会の仕組みや人々の生活と密接な関係にあります。

社会医学は、人文社会系を含めた広範な学問分野との連携・協働によって、社会の仕組みや人々の生活の改善を通じて、疾病の発生を予防し、「平均寿命」に代表されるような社会全体の健康水準の向上を目指しています。また、保健・医療・福祉・介護における社会制度の構築や管理・運営を通じて、安全で安心な社会の構築に貢献しています。

人々の生活環境は絶えず変化します。そのため、社会医学が対象とする内容も、時代とともに変化してきました。たとえば、戦後間もないころは、貧困や劣悪な生活環境を原因とする結核などの感染症が多く、その対策が中心でした。その後、日本は、高度経済成長を経て豊かな国となりました。しかし、その結果、肥満、糖尿病、メタボリック症候群、心臓病、脳卒中、がんなどの生活習慣病が増加しました。また、国民皆保険制度が導入されて、国民すべてが平等に一定水準以上の医療を受けられるようになりましたが、その結果として医療費も増加しており、対策が求められています。長寿は幸福なことですが、認知症も増加しています。さらにはグローバル化によって、新型コロナウイルス感染症のような健康問題が発生し、その解決に国境を超えた協力が必要となっています。

社会医学系の講座では、時代によって変化する社会

医学的な課題に対して、富山県や各種団体と連携・協働しながら、調査・研究の実施や施策立案への協力等を通じて、社会に貢献をしています。

小児保健領域

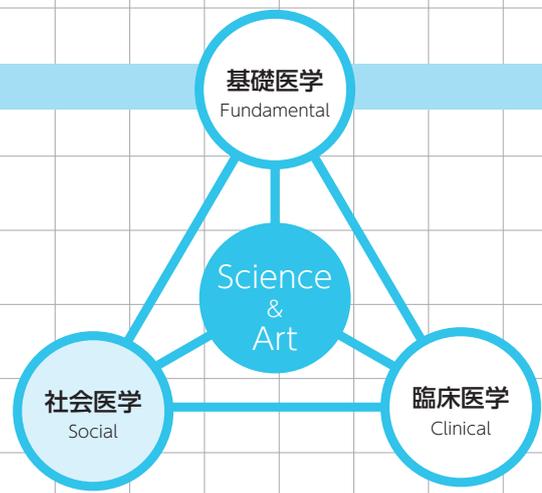
小児保健領域の調査・研究としては、富山県を含む全国15の地域で約10万人を対象とした「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」を実施しています。この調査は、子どもをとりまく環境要因が、子どもの健康や発育に及ぼす影響を明らかにするために行うものです。近年、アトピーやぜん息の子ども達が増えていますが、原因を明らかにしない限り、症状を緩和することはできても、根本的な対策をたてることはできません。体に良くない環境要因が明らかになれば、健やかに育つ環境を整備するために役立てることができます。

また、子どもを対象とした対象者数が1万人規模の調査を複数行っており、睡眠不足が小児生活習慣病のリスクとなることや、インターネット依存やゲーム障害の実態、望ましい生活習慣を持つ子どもの社会経済環境や家庭環境を明らかにしました。

これらの調査結果は、学校保健施策への反映や地域での講演活動等を介して、子どもの健康づくりに役立てられています。



エコチル調査サマーフェスタ



成人保健領域

成人保健領域の調査・研究としては、約5千人の地方公務員を対象として、心理社会的ストレスやワークライフバランスの心身への影響を調査しています。この研究は、英国のロンドン大学ユニバーシティ・カレッジおよびフィンランドのヘルシンキ大学との国際共同研究です。

その結果、日本の労働者は、労働時間が長く、ワークライフバランスが悪いことが分かり、それが日本の労働者の睡眠やメンタルヘルスに悪影響があることが分かりました。日本、英国、フィンランドという国家の体制や保健医療システムの異なる国を比較して類似点や相違点を明らかにすることで、それぞれの国の特徴がよく分かり、疾病対策につなげやすくなります。

高齢者保健領域

高齢者保健領域では、約1.3千人の富山県の高齢者を対象とした調査において、短い教育歴や肉体労働の職歴、糖尿病などの生活習慣病の既往歴が、認知症の発生リスクを高めることを明らかにしました。また、高齢者の歯の喪失は、偏食や少食を介して筋力の低下や虚弱を引き起こして高齢期の生活の質(QOL)を低下させることから、歯の喪失原因を明らかにしたところ、認知症のリスクとほぼ同様の結果となりました。以上から、高齢者の健康を維持するためには、小児期からの一



新型コロナウイルス感染症に関する研究発表で演題賞を受賞

生涯にわたる分野横断的な施策が重要であることが分かりました。

法医学領域

法医学は科学的で公正な医学的判断を下すことによって、個人の基本的人権の擁護、社会の安全、福祉の維持に寄与することを目的とする学問です。人は突然死、事故、自殺あるいは犯罪によって予期せぬ死を遂げることがあり、このような多様な背景を有する遺体を解剖して死因を究明する業務を行っています。犯罪死の証明によって治安維持に貢献することに加えて、本学の特徴的な活動としては、現代医学の最先端の手法を用いて、肉眼や顕微鏡で病気が特定できない突然死例の遺伝子診断、事故や自殺の背景の原因となっている病気の探索があります。このような活動から解剖結果を死因究明に留まらず、遺族や社会に広く還元することを目指しています。

大医は国を癒す

中国古代の医書に「小医は病を癒し、中医は人を癒し、大医は国を癒す」とあります。社会医学は、いわば国を癒す学問であり、「社会の健康」に貢献する学問です。

そのため、社会医学系の医師は、教育機関で教育や研究に従事している人だけではなく、厚生労働省等の行政機関の医師として国民の健康増進に貢献している人も多くいます。さらには世界保健機関(WHO)のような国際機関で活躍している人もいます。

社会医学系の講座は、「人々の健康」を診ることに加えて、「社会の健康」をも診ることができる医師の養成に貢献しています。

[疫学・健康政策学講座 教授 関根 道和]

看護学の立場から

人を全人的にとらえる看護職を育むカリキュラム

対象理解

保健師、助産師、看護師は人の尊厳を重視し、人々の発達課題と生活の場を考慮して、からだ・こころ・くらしのありようを統合体としてとらえ、理解していく能力が求められます。専門的な用語ではこれを「対象理解」と表し、あたかも相手の目線で物事を捉えられるようになること、相手の立場に立って気持ちを想像し、対象の看護ニーズをとらえることが重要になります。

人を理解するということは看護の本質であり、言うのは簡単ですが、修得するにはトレーニングが必要です。4年生でも、実習において「電子カルテ情報をとることはできたけれども、個別性のある看護計画を立てることは難しかった。」と感想を述べる学生が多々います。このような状況を学生自身が乗り越える手段として、対象に関心を向け、寄り添い、言葉を交わし、生の声を聴いていく方法をとっています。



ケアリング

熱心に患者に関心を向けることを専門的な用語では「ケアリング」と言いますが、援助的な態度をとりながら

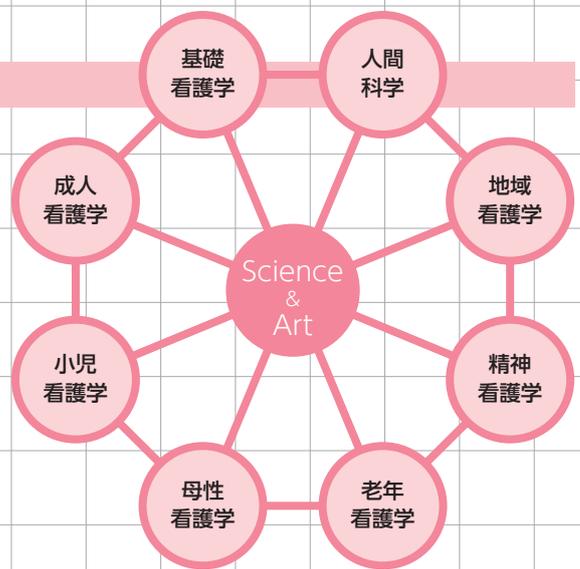
関係性を構築していく相互的なかわりです。人間対人間の関係性を主軸に、ケアする人とケアされる人の相互関係によって、双方が成長していくという関係性のことでもあります。



援助ニーズのアセスメント

対象の真のニーズは目に見えるものも、からだやこころの中であって目に見えないものもあり、疾患や認知のゆがみは表面に表れないこともあります。このように検査データとして表れないようなニーズを専門的には「潜在的ニーズ」と呼び、逆に目に見えるもの、つまり検査データに表れるものや言語化されたものを「顕在的





ニーズ」と言います。潜在的・顕在的なニーズを看護実践に取り上げていくためには、ヒトの身体構造、疾病の機序、こころの仕組み、発達課題、人にとっての役割を学ぶことが重要です。



は異なってきます。そのため、専門科目である基礎看護学から始めて、母性看護学、小児看護学、成人看護学、精神看護学、老年看護学、地域看護学、在宅看護学と学修し、領域別に重要となる看護診断・計画を展開します。考案した介入が有効なものか否かは、対象者の反応で評価します。まさに患者中心の看護の評価をすることが出来ます。

看護職は、求人倍率が常に2倍以上と社会から期待されている職種です。富山大学での学びをいかして羽ばたいてほしいです。



[母性看護学講座 教授 長谷川ともみ]

看護診断・計画

潜在的・顕在的ケアニーズをもとに、看護職が提示できるものに「看護診断・計画」があります。基礎看護学では看護診断の概要を修得しますが、対象者の暮らし場によって、または疾患によって看護診断の優先順位



おもしろい大学の「おも白いたまご」
を見つけました。



立山の大自然の麓で
自ら殻を割ります。



飛び回る雷鳥を
イメージして、
成長していきましょう。

富山から世界へ 医療人材の育成と 安心できるチーム医療の提供

富山大学附属病院 病院長

林 篤志



1) 富山の医療を支える最後の砦として

未来輝く高校生の皆さん こんにちは。

当院は主に重症の患者さんに高度先進医療を提供する、県に唯一の特定機能病院です。患者さんの命を救う革新的な治療法の研究や医療人育成に取り組む医学部を中心に、薬学部、工学部などの他分野学部とも連携しながら患者さんに新しい医療、より良い医療を提供するため日夜努力しています。

2020年に突如、新型コロナウイルス感染症がおり、富山県においても新興感染症の対応に苦慮しました。その中で当院は、第2種感染症指定医療機関となり、その後、感染症病床を増床して、重症患者を診る病院として機能し、貢献しました。そして、さらに今年は第1種感染症病床を用意する予定になっています。

さらに当院には、他病院では実施できない高度な救急医療等を提供しており、地域の病院等と緊密に連携し、富山の医療を支える最後の砦としての役割を担っています。そのため、医師をはじめ多職種の優秀なスタッフが協力して患者さんの治療に取り組むとともに最新の医療機器や設備を導入しています。

2) 未来を担う医師を育てる環境

医学部4年次になると全国共用試験のCBTと臨床実習前OSCEに合格して臨床実習生（医学）として臨床実習を開始します。これは単なる見学ではなく、診療に参加し、指導医のもと医行為も可能となりました。そして、これらの試験に合格することが医師国家試験の受験資格になっています。医学科を卒業後は初期臨床研修医になりますが、ぜひ、優れた研修プログラムを用意している富山大学附属病院の初期臨床研修医になってもらいたいと思います。卒後臨床研修センターでは、初期臨



充実した研修を行えるようサポートしています

富山大学附属病院の 特 徴

- 特定機能病院
- がんゲノム医療連携病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 災害拠点病院（基幹）
- 難病診療連携拠点病院
- アレルギー疾患医療拠点病院
- がん診療人材育成拠点病院
- エイズ拠点病院
- 第2種感染症指定医療機関

未来を担う医師を育てる環境

- 富山から世界へ、地域へ
- 各自が思い描く医師になるためのキャリアパスのサポート体制
- 優れた初期臨床研修プログラムと
19基本領域すべての専攻医研修プログラム

地域に根ざした大学病院

- 県内唯一の医育機関であり、すべての専攻医養成が可能
- 高度先進医療とチーム医療の実践により、地域医療の最後の砦となる病院
- 富山県および近隣地域の医療を将来にわたって担う医療人材の育成

床研修医の皆さんの面倒をしっかりみていますので、安心して下さい。特に研修医の一人一人にはメンターとして先輩医師が個別に配置され、あらゆる相談にのってくれます。初期研修が修了すると、各自が目指す専門医になるための専攻医研修が始まります。当院には専門医の19基本領域すべてが揃っています。富山大学では、自分の希望する専門医を選ぶことができ、皆さんのなりたい医師になることができるのです。

3) 地域医療を支える大学病院

医学部の地域枠、富山県一般枠、富山県特別枠で入学した学生諸君は、富山県の地域医療に貢献する意思をもち、その意思を実現できるよう医学部1年次から将来へむけての相談を始めます。附属病院は富山県の医療の最後の砦であるとともに富山県の地域医療に必要な医療人材の養成を担う機関です。

地域医療といっても富山大学附属病院から診療所まで幅広く勤務できる病院があります。今後、ますます富山県の人口は減少し、高齢化し、医師が不足していくことが予想されています。富山大学医学部に入学した皆さんが、富山県に残り、富山県の医療を将来にわたって担っていただきたいと強く念願しています。

附属病院で行っている高度先進医療を一部をご紹介しますと、循環器センターでは小児心臓外科手術を多数行っており、日本のトップ施設です。また、補助人工心臓



最先端の手術室で高度な医療を提供しています

を扱えるのは北陸で当院のみです。包括的脳卒中センターでは24時間体制ですべての脳卒中治療を担っています。膵臓・胆道センターには、全国から膵臓がんの治療と胆道内視鏡治療のため、多くの方が受診される日本のトップ施設です。ほかにも多くの診療科で高度先進医療を実施しています。臨床研究開発推進センターでは医師主導治験などを行い、医学の進歩に貢献しています。これらの高度先進医療は、医師だけでなく薬剤師、看護師、医療スタッフ全員で協力してこそ成しえるものであり、すべての医療人材の養成が必要です。

さらに、これからの富山県の医療では総合診療医や家庭医の需要も高まります。高度先進医療から総合診療まですべての医療人材を育成し、今後とも附属病院は地域医療を支える役割を果たしていきます。

ポストコロナ時代の医療人養成

情報通信技術 (ICT) を活用した医療人教育

医学部では、学習管理システム (Moodle) を用いた学修のオンライン化に先駆けて取り組んでいたことにより、コロナ禍でもオンライン授業へスムーズに移行できました。対面型とオンライン型の良い面を組み合わせ、講義のみならず、心肺蘇生講習会、臨床実習、グループ討議、試験など、新しい学修法に学生と教職員が協力して取り組んでいます。

また、実技の訓練の際に用いる医療用シミュレータでは、各自のスマートフォンを用いて学生同士で評価する仕組みも取り入れています。医療人には、お互いの役割を理解し、コミュニケーションをとる能力も必要です。医学・薬学・看護学合同でのオンライン演習も導入しています。



微生物を瞬時に検出する質量分析



新生医療学研修の感染対策として、入学したての300人が自ら抗原検査を実践

「感染症医療人材の養成」と「地域医療人材の養成」

富山大学は、文部科学省から様々な人材養成事業に選定されています。「感染症医療人材養成事業」では感染症教育により地域の感染制御の即戦力となる感染症医療人材を養成しています。2022年からの「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」では、全国3か所の拠点のひとつとして、最先端の機器に触れながらコロナで大きく変わった検査を学修したり、感染対策に必要な知識や技術を修得できる環境がより充実しました。また、2023年からの「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」では、新潟大学とともに呉東地区、糸魚川地区、上越地区を中心として地域医療を担う人材を両大学が協力して積極的に養成していくことになりました。修得した知識や技術を社会還元するところまでを学修することで、地域社会のニーズに傾聴でき時代に合わせて対応できる人材の養成に取り組んでいます。



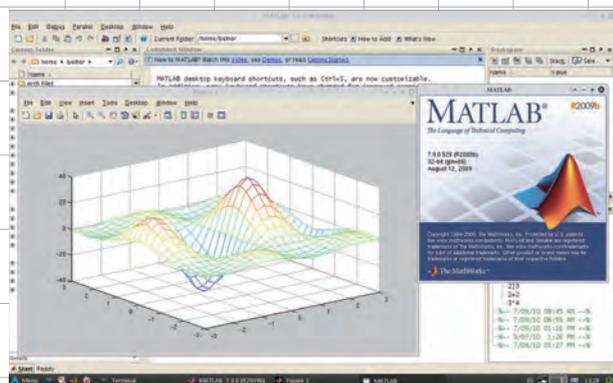
低学年から取り組む新型コロナ検査実習

データサイエンス, ビッグデータ, 人工知能 (AI), 持続可能な開発目標 (SDGs) などの新しい分野に対応した教育を実施

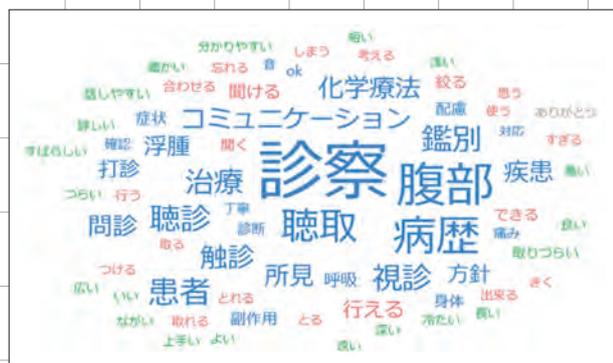
データサイエンスは今後の医療者にも必須な能力

IoT, クラウド, AI などの情報通信技術の発達により, 様々な人々の活動がネットワークを通じビッグデータとして集約されるようになりました。このデータは集約だけでなく, 分析によって初めて私たちの活動に活用することができます。医療に関わるデータを活用するために, データサイエンスの基本的な能力を学修し, 使いこなすことが求められています。

北陸地区では富山大学の取組「数理・データサイエンス教育の全学必修化と北陸地区の大学連携による地域への普及」が文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育の全国展開」協力校に選定されました。令和2年度以降の入学生から数理・データサイエンス教育が必修化され, MATLAB® などの高機能なソフトウェア



データサイエンスソフト (MATLAB®) ("MATLAB® on Arch Linux (xfce)" by Belhor_ is licensed under CC BY-NC-SA 2.0)



AI テキストマイニングの結果例 (Userlocal)

及びその教育資料を無料で使用することができます。金沢大学及び福井大学と連携しながら, ノウハウの共有や授業科目の提供等を行い, 北陸地区の高等教育機関への普及を図っています。必修化された数理・データサイエンス教育に加えて, 各学部の特徴に合わせた教育が実施されており, データサイエンスに関わるさらに深い学修が可能です。医学部では, 医療や保健に関わる医療統計など, ビッグデータを含めた分析によって, 医療における課題の検討などの学修を進めています。

SDGs は世界的な動き

富山大学では, 2015年の国連サミットで採択された持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。全学部の教員が協力して, SDGs関連科目を開講しています。また様々な社会活動にも取り組んでおり, 学生は講義・実習を通してSDGsを学修します。



〈富山大学医学部の取組み事例〉

SDGs3. すべての人に健康と福祉を

- ・日本・英国・フィンランドの公務員を対象としたストレスと健康に関する国際共同研究
- ・保育・教育の場におけるアレルギー疾患児への対応指導

SDGs4. 質の高い教育をみんなに

- ・病気と健康をテーマにした市民公開講座の開催

SDGs9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

- ・新しい医療機器の開発や臨床研究の実施 など

世界で活躍する医療人の養成

米国式の臨床実習を経験 —ハワイ医学教育プログラム (Hawaii Medical Education Program : HMEP) —

富山大学医学部では、世界で活躍できる医師を育成することを目的として、ハワイ医学教育プログラムに登録しています。

このプログラムでは希望する学生に対して、ハワイ大学における医学教育に関する情報を中心に、海外で活躍する日本人の講演、USMLEの受験情報などを聴講することが可能です。また、アドバンス臨床実習ではハワイ大学式の臨床実習を富山大学の正式な臨床実習の単位として国内の病院で受けることが可能です。

ハワイ医学教育プログラムは、学内の担当教員が全体をコーディネートしています。在学中から海外経験を希望する学生にとって、非常に良い環境が提供されています。

ハワイ医学教育プログラムの概要

(1) 医学科1年次から6年次

e-Learning形式で、医学を英語で学修します。また、米国専門医らが提供する各種セミナーを受講します。米国医師国家試験 (USMLE) 受験のサポートも受けられます。

(2) 医学科4年次から6年次

登録学生の中から希望して選抜されれば高学年でハワイ大学において現地学生と交流しながら医学教育を受けることも可能です。

(3) 医学科5年次から6年次

米国式の臨床実習を行っている日本国内の病院の臨床実習に参加します。内科、外科、小児科、産婦人科、救急科、家庭医療、精神科などの主要な診療科において、4週間の米国式の臨床実習を経験できます。この臨床実習は、正式に単位認定されます。

その他にも3年次にマレーシア・モナッシュ大学、インドネシア・ハサヌディン大学での英語での授業参加、臨床実習では韓国・忠南大学、ドイツ・ルール大学、オーストラリア・リバーランドなど様々な国と地域での臨床実習が可能です。

アジア諸国との国際交流

看護学科では、アジア諸国との交流を進めています。学会参加だけでなく、2019年にはインドネシアのハサヌディン大学との学術交流に関する覚書を交わしました。富山大学の教員が視察に行っており、今後の共同研究が期待されるところです。また経済連携協定 (Economic Partnership Agreement : EPA) に基づき、アジア諸国出身の看護師候補者が国家試験を受験する機会が増えました。少しでもサポートするため、漢字へのルビや、疾病名への英語併記などを自動化して作成したドリルを公開しています。



医師・看護師等の資格の取得を全面的に支援

図書館は24時間利用可能

杉谷キャンパスの医薬学図書館は、24時間利用可能です。自宅から利用できるオンライン図書も年々増加しており、学修環境の改善が図られています。

館内には学生がグループで学修できるグループ学習室が整備されています。また、各学年の学生代表が参加するカリキュラム委員会では学修環境について意見交換が行われ、定期的に学修環境やカリキュラムの改善が行われています。

学習管理システム (Moodle) やテレビ会議システム (Teams 等) が整備され、双方向的な e-Learning など、情報通信技術を活用した教育が提供されています。



医薬学図書館



グループ学習室 (セミナールーム)

国家試験合格を全面的に支援

教育プログラムの過不足は定期的に調整され、新たに必要となる学修内容をいち早く導入しています。また、国家試験や外部模試の結果を解析し、学生や教育プログラムに対してフィードバックをしています。

医学科では令和2年度から卒業時の実技試験が正式に実施され、実質国家試験化しました。臨床実習では経験が不足する医療行為を模擬的に練習できる環境が整っています。

看護学科では、4年次11月中旬から2月下旬までで国家試験に向けての自主学習となっています。そのために各講座で冷暖房完備のゼミ室などを提供し、質問等にも対応しています。学生によっては図書館や自宅など、集中できる場所が異なりますが、学生間での想定問題などを出し合い、団体戦として学習することが望ましいようです。また、3年次からは教員のサポートもあります。

両学科とも学生が主体となって国家試験対策委員会が編成されます。医師・看護師等国家試験模試の回数や日時、キャンパス内での受験会場などを設定し、模試を受けます。模試においても例年好成績が得られています。

このような方法により、医師・看護師等の資格取得を支援しています。



情報処理室

富山県出身者を対象とする入学枠

地域の医療の現状

全国的に地方から都市への医師の流出が進み、県内の医師不足も深刻化しています。また、新型コロナウイルス感染症では、医療と行政の連携でうまくいかず医師偏在の影響が指摘されました。全国的な傾向として、卒業後、都市部に出ると戻ることは稀なため、多くの大学では地域枠を設けることで医師確保に取り組んでいます。国としても「地域医療構想」として、少子・高齢化社会への対策に乗り出しているところです。

富山県出身者枠の設定は、流出する医師不足の解消を目的としているだけでなく、富山大学の特徴を活かして、これからの時代に求められている住民の皆さんや行政機関と連携できる医療人養成を行うことも目的としています。

富山県でキャリアを積む入試枠

医学科を卒業すると、研修医となり指定医療機関で定められた期間研修を行うこととなります。富山大学では、医師のキャリアをスタートさせるこの重要な時期に、富山県内で研修を行うことを条件として、富山県出身者を対象とした入学試験を設置しています。

「学校推薦型選抜地域枠」は現役生を、「総合型選抜富山県一般枠」は現役生を含む卒業後2年以内の方を対象とした入学試験で、卒業後に富山大学附属病院（富山大学が指定する医療機関含む）で、2年間の初期研修を含む3年間の臨床研修を行うこととなります。これらの入学枠には、修学資金貸与制度は設定されていません。

「総合型選抜富山県特別枠」は、現役生を含む卒業後2年以内の方を対象とした入学試験で、県内医療機関における臨床研修2年、特定診療科9年の診療に従事していただくこととなります。特定診療科とは、多くの診療科の中でも特に富山県の事情に合わせて充足させるべきとされ、定められた診療科のことです。この入学枠には、県内医療機関への勤務を条件とする修学資金貸与制度

があります。

求められるプロフェッショナリズム

このように、富山県出身者枠は富山県全体の医療を維持し、県民の皆さんの思いにこたえるために設けられたものです。サポート体制も充実しており、入学後には、学修支援・進路相談として行われる勉強会や研修会、面談などを通して、カリキュラム+αの学修とプロフェッショナリズムが養成されます。そのため受験する前から自身にその責任を問いかけ、入学後も継続してそのプロフェッショナリズムを磨き、卒業後は定められた研修・診療に従事できるかどうかを真剣に考えてください。

これらは特別に設けられているため、研修する医療機関や卒業後の定められた年限、富山県特別枠の場合には進むことができる診療科に制限があることも事実です。ただし、この制限の中で成長して磨いていけるかは自分自身です。これらの入学枠の卒業生がしっかりと役目を果たしているかどうかは常に評価されていて、計画通りに進まない場合には、仕組み自体がなくなるおそれもあります。これは、富山県自体の不利益であるとともに、将来受験する人達の可能性を狭めることにもつながります。迷いがある方は、一般入試枠で受験してください。

学生生活を含めると9～17年後までの約束を伴う入試枠で、これほど先のことを想像することは簡単なことではありません。受験者本人だけでなく、家族の方にもこの入学枠設置の背景と社会的責任を十分に理解いただく必要があります。

医療人は病める人のために尽くす職種であり、富山大学は「仁の精神」をもって地域と世界で活躍できる医療人を求めています。その、富山愛を存分に発揮してくれる人、卒後に富山県を支えてくれる人、そしてそのマインドを後進にもつなげたいという人をお待ちしています。

なお、詳細は必ず最新の学生募集要項をご覧ください。

富山県出身者を対象とした入学試験（概要）

	学校推薦型選抜地域枠	総合型選抜富山県特別枠	総合型選抜富山県一般枠
対象	現役生	現役生含む卒業後2年以内	現役生含む卒業後2年以内
卒業後	富山大学附属病院を基幹施設とする研修プログラムで、2年間の初期研修を含む3年間の臨床研修	県内医療機関における臨床研修2年、特定診療科9年の臨床に従事 ※特定診療科…多くの診療科の中でも特に富山県の事情に合わせて充足させるべきとされる定められた診療科	富山大学附属病院を基幹施設とする研修プログラムで、2年間の初期研修を含む3年間の臨床研修
修学資金	修学資金貸与制度なし	県内医療機関への勤務を条件とする修学資金貸与制度あり	修学資金貸与制度なし

キャリアパスとしての大学院進学 (医学)

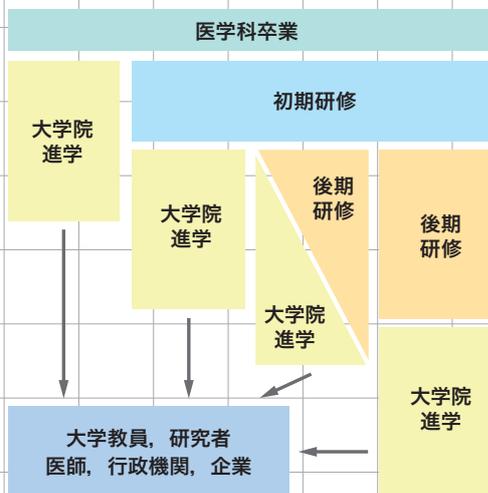
大学院 (生命・臨床医学プログラム)

大学卒業後のキャリアパスの一つとして大学院進学があります。富山大学大学院総合医薬学研究科 総合医薬学専攻 生命・臨床医学プログラムは4年制であり、所定の単位を修得し、学位論文を提出することで、博士 (医学) の学位が授与されます。

総合医薬学研究科では、医学、薬学及び看護学を総合した特色ある教育と研究を礎とし、幅広い知識を基盤とする高い専門性と人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力を身に付けることができます。そして、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献できる総合的な判断力を有する高度医療専門職業人または教育研究者としての人材を育成することを目的としています。

大学院総合医薬学研究科 生命・臨床医学プログラムでは基礎医学、社会医学、臨床医学など現代における医学の幅広い分野をカバーしています。本学では「プロの医学研究者」になるための必須のスキルの習得から卒業後を見据えたキャリア形成まで総合的に学ぶことが可能です。近年、研究のボーダレス化が加速し、分野を越えて、国境を超えて研究を行う必要がありますが、

大学院進学のタイミング



本学では講座間での共同研究や国内・国際共同研究が盛んに行なわれ、世界に向けて多くの研究成果を発表していますが、その中心に大学院生が関わっています。

大学院へ進学するタイミングは学部卒業後、初期研修終了後、後期研修終了後など多様です。本学では後期研修プログラムの中に大学院進学を組み込んだものもあり、効率よく大学院で学ぶことができます。さらに、本学附属病院や関連病院に勤めたままでも、社会人大学院生として、仕事と研究を両立させながら、大学院で研究ができる制度もあります。また、本学の学部で所定のプログラム (研究医養成プログラム) を修了していれば3年間で学位を修得することも可能です。

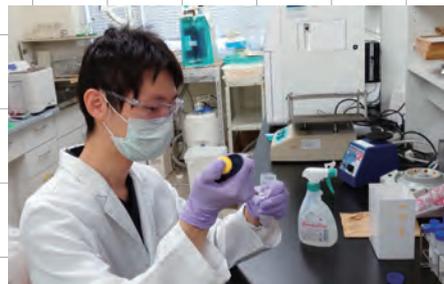
修了後の進路

教員・研究者 (大学, 研究所等)

医師 (病院, 行政機関)

企業 (創薬開発, 治験関連)

大学院を修了して得られる博士 (医学) の学位は、キャリアパスの可能性を拡げます。大学院の卒業者は大学教員、研究者、病院における医師として活躍しています。また、製薬企業、医療関連機器の企業、ヘルスケア企業などに就職する卒業生もいます。厚生労働省、県などの行政機関、保健所などの公的機関に進む道もあります。さらに研究を続けるため米国や欧州の大学・研究所に海外留学をする卒業生も多くいます。富山大学医学部医学科卒業生も、多くの方が大学院に進学し、富山だけでなく日本中、世界中で活躍しています。



キャリアパスとしての大学院進学（看護学） ～看護学スペシャリストを目指すあなたに～

大学院では博士前期課程、博士後期課程を設置しています。研究者、看護学教員、診療看護師（NP）、がん看護専門看護師（CNS）、母性看護専門看護師（CNS）になりたい人などのニーズに応え得るコースがありますので、ご自身の人生の中での貴重なキャリア形成の基礎を構築することができます。

看護科学プログラムにおける教育は、大学院共通科目、研究科共通科目、看護科学プログラムの各科目、学位論文指導により構成されています。

博士前期課程

博士前期課程看護科学プログラムには以下の4コース、各専門分野があります。修業年限は2年間ですが、長期履修制度を活用し（4年間まで）社会人として仕事と学業を両立しながらの学修も可能です。どのコースでも修士（看護学）を取得できます。

- ① 研究者コース：看護ケアサイエンス学
母子看護学
地域看護学
- ② がん看護専門看護師（CNS）コース
- ③ 母性看護専門看護師（CNS）コース
- ④ NP（ナースプラクティショナー）コース

すべてのコースにおいて共通科目があります。共通科目は、大学院共通科目と研究科共通科目の履修により幅広い知識を基盤とし、チーム医療・多職種協働を実践できる教育課程を編成しています。1年次より、学位論文の研究課題・計画を検討します。倫理手続きを遵守し研究を遂行し、修士（看護学）の学位論文を作成します。

- ① 研究者コース
今後ますます発展する看護学において研究者としての基礎を身に付けます。これによって、看護大学の教員など、教育・研究への将来的な道が開きます。各領域の特論、演習を終えたのち、修士論文作成に向けて特別研究を行います。
- ② がん看護専門看護師（CNS）コース
がん看護における高度な専門知識と技術を身に付け、質の高いケアを患者に提供することが出来ます。各領域の特論、演習を終えたのち、所定の実習を行い、修士論文作成に向けて実践特別研究を行います。
- ③ 母性看護専門看護師（CNS）コース
女性の健康において高度な専門知識と技術を身に付け、質の高いケアを患者に提供することが出来ます。各領域の特論、演習を終えたのち、所定の実習を行い、修士論文作成に向けて特別研究を行います。
- ④ NPコース
診療の実際を学ぶことを通し、診療看護師（NP）の役割を担うための実践力を養う実習が多くを占めますが、実践課題も行います。急性期領域、慢性期領域において診療にも携わる高度な専門知識と技術を身に付け、質の高いキュアとケアを患者に提供することが出来ます。

※②～④は、看護師経験必須

博士後期課程

博士後期課程では持続可能な地域ケア体制・ケアシステムを構築し、国民の健康（身体的、精神的、社会的、スピリチュアル）と自助・共助・公助がバランス良く機能するコミュニティの形成を目的とし、共通科目の他、以下の3つの専門分野をおいています。修業年限は3年間ですが、長期履修制度（6年間まで）を活用し、社会人として仕事と学業を両立しながらの学修も可能です。博士後期課程は、前期課程からの連続で進学されると入学金は不要です。論文提出後、審査を経て、博士（看護学）を取得できます。

① 基礎看護科学分野

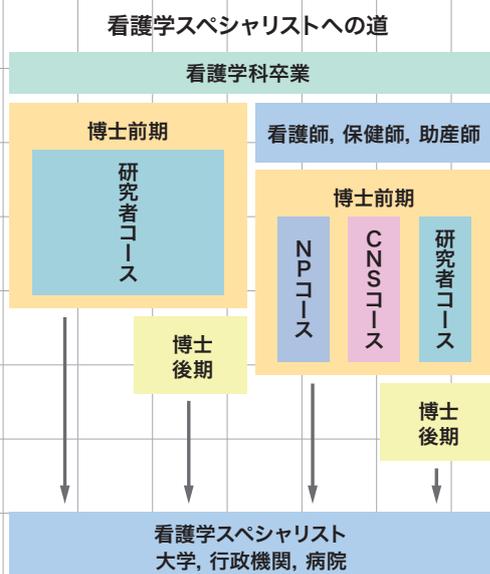
全人的な個としての在り方を、「基礎看護学」での看護観・人間観・健康観に基づく捉え方、及び、「精神看護学」でのスピリチュアルな側面をも含めた全人的捉え方に統合・発展させた教育・研究を行います。

② 臨床・生体機能看護科学分野

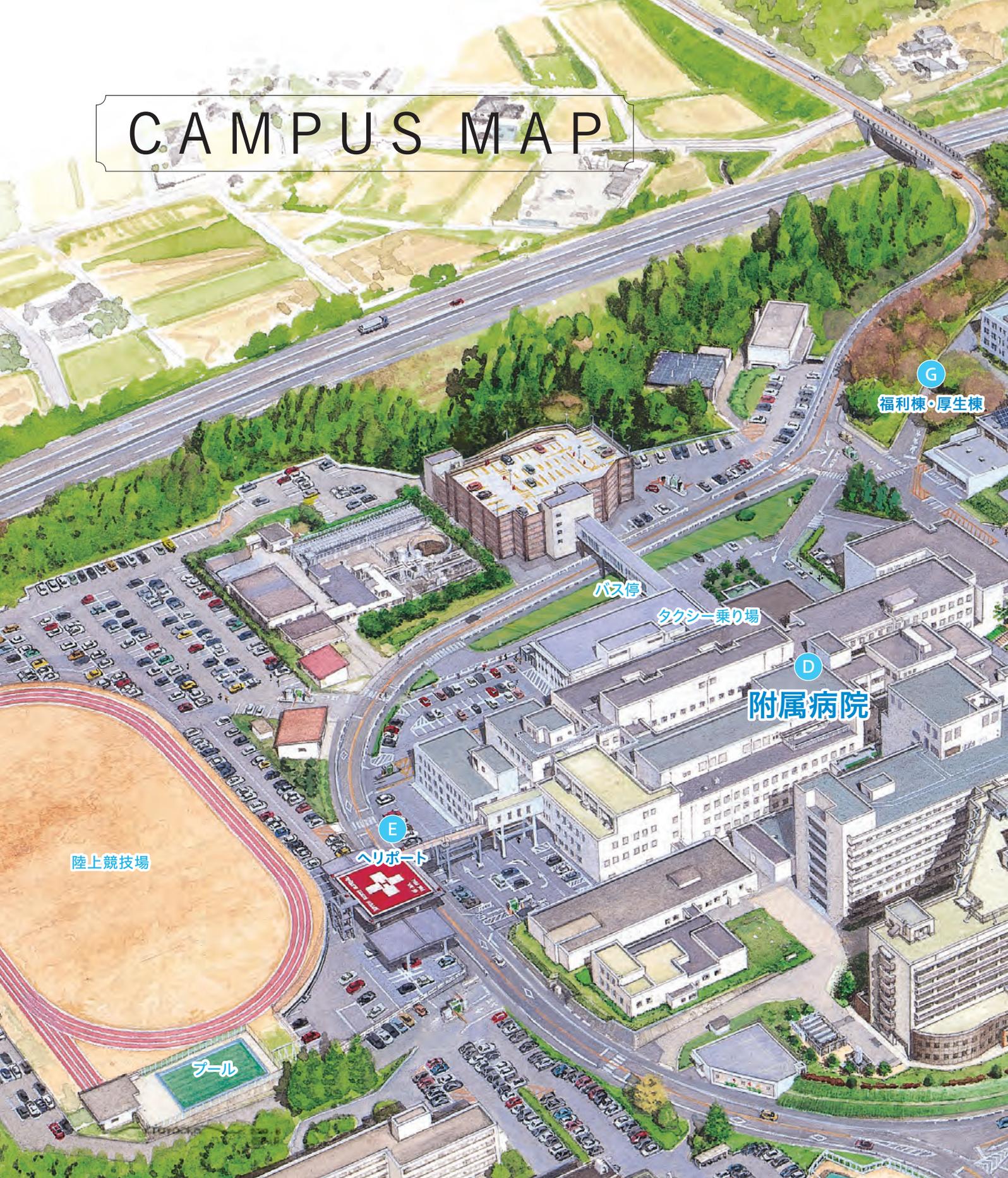
全人的な個として、環境との相互関係で発生から成長発達していくという見方から、「基礎看護学」での細胞レベルでの人間の理解、また環境と人間との相互関係からみる生体防御システム、「母子看護学」及び「成人看護学」での発達段階及びその時期に特有の健康問題等を統合・発展させた教育・研究を行います。

③ 地域ケアシステム看護科学分野

地域社会でのケアシステムの在り方を、「老年看護学」での高齢者とその家族に対する生活文化を尊重した看護と、「地域看護学」でのコミュニティが持つ自助・共助の力の醸成及び包括的な社会資源として機能させる看護を統合・発展させた教育・研究を行います。



CAMPUS MAP



A

医学部 研究棟

最先端の医学研究を実施

基礎医学，臨床医学，社会医学など様々な分野の講座が研究活動を行っています。研究室配属の前に一度，どんな専門分野の講座があるか見ておくとも良いでしょう。

B

看護学科 研究棟

シミュレーションセンターも設置

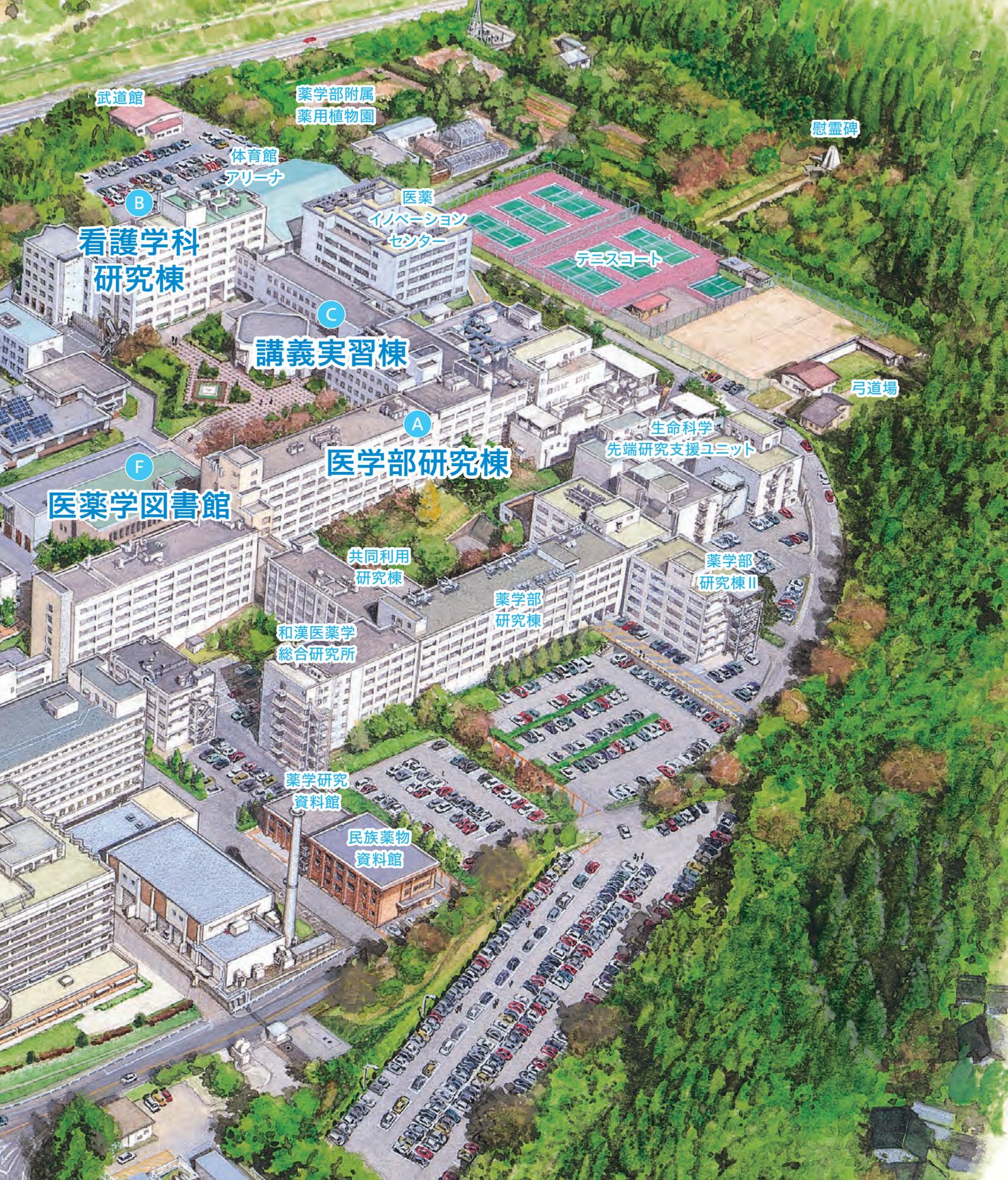
看護学科の様々な分野の講座が研究活動を行っています。また，看護学科の講義室や実習室として使用されています。シミュレーションセンター「T-ALPS」を整備中です。

C

講義実習棟

医学・薬学の基礎を学ぶ

医学部と薬学部の学生は，主に講義実習棟で講義・実習を受けます。また，情報処理室もあり，ICTを活用した学修が行なわれています。



D 附属病院
最先端の医療を提供

富山県の医療の最後の砦となるべく、たくさんの教職員が日夜、最先端の医療を提供しています。臨床実習や臨地実習は、附属病院を中心に行われます。

E ヘリポート
富山県下どこからでも

富山県下の様々な場所から重症患者がヘリコプターで附属病院に搬送されます。救急診療が円滑にできるような作りになっています。

F 医薬学図書館
24時間利用可能

医薬学図書館は、主に医学・看護学・薬学分野の学術情報を提供する図書館です。電子ジャーナル、データベース、雑誌、図書などが整備されています。本学の学生や教職員に加えて、地域の方々も利用可能です。

G 福利棟・厚生棟
食堂・書店・部室

食堂では、安価で食事をとれます。また、飲食物を購入できる売店や、勉学に必要な書籍や物品などを購入できる書店があります。部活動の部室があり、課外活動の拠点となっています。

入学料と授業料は？

- ①入学料と授業料：医学科および看護学科ともに、入学料は282,000円、授業料は年額535,800円です。
- ②入学料と授業料の減免：富山大学は「大学等における修学の支援に関する法律」の対象校として文部科学省から認められており、経済状況等の一定の要件を満たす方は、入学料と授業料の減額や免除を受けられます。

授業料以外の費用は？

- ①講義実習関係：資料提供や課題提出のためにノートパソコンとソフトウェア（ワード、エクセル、パワーポイント等）は必須です。教科書や参考書代は履修科目により異なります。実習では、白衣、聴診器、ペンライト等の費用がかかりますが、それぞれ廉価なものから高価なものまで様々あります。
- ②学生保険関係：全学生が学生教育研究災害傷害保険（学研災）と学研災付帯賠償責任保険に加入します。保険料は、医学科は7,800円（6年間）、看護学科は5,370円（4年間）です。
- ③受験料関係：臨床実習前共用試験33,000円（医学科4年次）。臨床実習後共用試験20,000円（医学科6年次）。医師国家試験15,300円。看護師・保健師・助産師国家試験は、それぞれ5,400円。
- ④医学部同窓会・医学部後援会：医学部同窓会は学生本人が加入する団体（会費30,000円（10年間））、医学部後援会は保護者が加入する団体（会費は医学科75,000円（6年間）、看護学科50,000円（4年間））で、部活動などの課外活動、国家試験模擬試験、ワクチン接種、謝恩会、卒業アルバム作成等の学生の各種活動を支援しています。

奨学金制度はありますか？

- ①日本学生支援機構、地方公共団体、民間団体等からの各種奨学金制度があります。
- ②卒業後に富山県内で医療に従事する意志のある学生に対する奨学金制度として、富山県地域医療再生修学資金（医学科対象）や富山県看護学生修学資金（看護学科対象）があります。所定の条件を満たすと返還が免除されます。



海外留学できますか？

- ①富山大学は、19の国や地域における42機関と大学間交流協定を締結しています。また、26の国や地域における97機関と部局間交流協定を締結しています。
- ②学部1年次の希望者に対して、短期海外英語研修を実施しています。医学科4年次に、ハワイ大学での医学教育を希望者は経験できます。また、医学科5-6年次の臨床実習において、選抜により海外臨床実習を経験できます。
- ③海外留学に際しては、富山大学基金や杉谷キャンパス国際交流基金による経済的支援を受けることができます。

どのような資格が取得できますか？

- ①医学科は医師国家試験の受験資格、看護学科は看護師、保健師、助産師の国家試験受験資格が取得できます。また、看護学科は養護教諭2種免許申請資格が取得できます。

どのようなサークル活動がありますか？

杉谷キャンパスのサークル活動は以下の通りです。五福キャンパスのサークル活動に参加している学生もいます。



- ①体育系／ITFテコンドー部、アーチェリー部、アイスホッケー部、ウインドサーフィン部、弓道部、競技スキー部、剣道部、硬式テニス部、ゴルフ部、サッカー部、山岳部、準硬式野球部、女子軟式野球部、女子バスケットボール部、女子バレーボール部、女子ハンドボール部、水泳部、スキューバダイビング部 WEDIT、ストリートダンス部、ソフトテニス部、武田流中村派合気道部、卓球部、男子バスケットボール部、男子バレーボール部、男子ハンドボール部、バドミントン部、養神館合気道部、ラグビーフットボール部、陸上競技部
- ②文化系／ESS、peer☆yacha (ピア・エデュケーションサークル)、TULid、医学薬学祭実行委員会、医薬classicサークル、ウインドアンサンブル、管弦楽団、ギターマンドリンクラブ、救急医学勉強会 SALT、軽音楽部、コーラス部、国際医療研究会、茶道部、三曲会、写真部、ジャズ研究部、しやべんかい 楮鞭会、小児科訪問サークル・青い鳥、書道部、美術部、ボランティア同好会 (ポラどう！)

どこに住めばよいですか？

杉谷キャンパスは、バスによる通学が可能です。高学年になると実習先や実習時間の関係で自家用車を使用する学生も多くなります。

- ①杉谷キャンパス周辺：徒歩や自転車での通学が可能で、多くの学生が住んでいます。
- ②五福キャンパス周辺：1年次の教養教育は五福キャンパスで実施されることや、利便性を考慮して、五福キャンパス周辺に住む学生も多くなります。(富山大学生生活協同組合)
- ③富山大学新樹寮(学生寮)：杉谷キャンパスと五福キャンパスの中間に位置します。入寮には選考があり、経済状況等が考慮されます。(富山大学新樹寮)
- ④その他：富山県出身の方は、自宅から通学されている方も多くなります。

②



③



どこで食事や買い物ができますか？

- ①講義・実習に必要な物品(教科書、参考書、文房具、白衣、聴診器など)：構内にある書店で購入できます。
- ②食事：生協の食堂で食べることができます。また、生協の売店では、お弁当やパン等の食品を販売しています。
- ③日用品の購入：杉谷キャンパス構内にある書店や売店で購入できるほか、大学周辺のコンビニエンスストア、ドラッグストア、ショッピングセンター、また、ネット通販等で購入できます。

富山の勤勉な風土が育ててくれます



富山大学医学部
疫学・健康政策学講座
准教授

山田 正明

(2002年 卒業)

私は滋賀県の高校を卒業した後、1996年に富山医科薬科大学(現富山大学)医学部医学科に入学しました。身内もおらず当初は杉谷キャンパス周辺に住むのは不安でした。しかし杉谷キャンパスでは同級生が近くに住んでいることが多く、また部活動も盛んで多くの先輩後輩ができ、安心して学生生活を送ることができました。この縦(先輩後輩)と横(同級生)の関係は試験勉強の助言だけにとどまらず、卒業後の今でも大きな財産となっています。

私は卒業後、内科(消化器科と漢方)医として12年間勤務しました。内科と内視鏡(胃や大腸カメラ)の専門医も取り終えて一人前になったと感じましたが、一つ学び残したことがありました。それは統計でした。統計ができないために学会ではいつも症例報告の発表をしていました。症例報告とは稀な一症例の治療経過を報告するのですが、所見や治療を普遍的なものとして発表するには、多くの症例を集めて統計を使った報告が必要です。そんな時、旧知の先輩や同級生が病院での仕事に加え、大学院に入学して医学博士を取るための研究までしていました。みんな「大変だよ～」と言いながら、実験手技を身に付け、統計を学んで英語の博士論文を仕上げているのです。皆さんにはまだ想像ができないと思いますが、卒業後に医師の仕事をして6～10年程度して、再び学生(大学院生)として学び直すことは大変な気合が必要なのです。しかし先輩や同級生がますます成長していく姿に魅了され、私も大学院で頑張ろうと決意できました。今振り返ってもあの時に統計学を学んで、人生の幅を広げておいてよかったと思います。富山大学の勤勉な風土、周囲の人達に恵まれたと感謝しています。

現在の私は、社会医学で統計を駆使する「疫学」研究をしています。具体的には富山県でどの程度の児童がネット依存なのか(有病率)、またネット依存にかかりやすい子はどんな生活、家庭環境なのか(リスク因子)などの分析です。私はこの関係から小中学校で児童の前で話す機会が多いのですが、ほとんどの子が静かに話を聞くことができます。富山は県自体が非常に勤勉だと実感します。

是非皆さんも富山大学に入学して、県と富山大学がもつ勤勉な風土を感じてみてください。人生を通して良い影響があります。もちろん部活など勉強以外にもたくさん学べることもあります。皆さんと一緒に過ごせることを楽しみにしています。

医師を目指す皆さんへ



富山大学附属病院
地域医療総合支援学講座
客員助教

竹村 京子

(2009年 卒業)

こんにちは。私は富山県立高岡高校を卒業し、2003年に富山医科薬科大学(現富山大学)医学部医学科に入学しました。子供たちが元気に育つサポートをしたいと思い、医師を目指しました。いわゆる勉強は苦手でしたが、良き友人、先輩に恵まれ無事卒業することができました。試験前に友達とチュートリアル室にお菓子を持ち込み、籠って勉強したことは、振り返れば楽しい思い出として残っています。

卒業後は、信頼する先輩が勤務する病院で2年間の臨床研修を行いました。そこでも、支えてくれる仲間と出会い、多くの学びを得ました。医学部入学当初は小児科医を目指していたものの、様々な診療科で臨床実習や臨床研修を重ねるうちに、自分の手でその場で病巣を取り除くことのできる手術の魅力に取りつかれました。現在は産婦人科医となり、婦人科腫瘍を専攻しています。手術の技術を高め、薬物療法や放射線治療の知識を蓄え、少しでも患者さんが元気に過ごせる日が長くなるよう診療を行っています。小児科医になりたいと思ったときに、患者さんに寄り添いサポートしたいと考えていましたが、それは産婦人科医であっても変わらず念頭に置いています。医師になってからも多くの困難や不安に直面することがありますが、出会った仲間の存在が大きな支えとなっています。

これまで臨床一筋でスキルアップしてきましたが、私の医師人生は転換期を迎えます。医師10年目で富山県の寄附講座である「地域医療総合支援学講座」に配属されました。富山県における医療提供体制の充足を目的とした講座であり、私の中でも特に、将来富山県の医療を支える学生のキャリア形成支援を担当することになりました。当初は、学生の皆さんが将来地域で活躍できるように先輩医師の講演やハンズオンセミナーなどを行ってきました。しかし、実際に地域で活躍する医師になることができたのか、皆にとってよいことをしているのか疑問が残りました。私自身も富山で育った医師であり、学生の皆さんには思い入れがあります。しかし、気持ちだけでは最適な支援に結びつくとは限りません。私は教育について学び研究する必要性に気づき、医師14年目半ばで大学院に入学し医学教育学を専攻することにしました。今から大学院!?と言われるかもしれませんが、「四十(六十)の手習い」と思い頑張っています。臨床では患者数や生存期間など数を扱う量的研究が大半を占めますが、大学院入学をきっかけに、インタビューなどの主観的データをもとに心理的傾向や文化など数字で表すことができないデータを分析する質的研究という方法に出会うことができました。学生の皆さんが自ら富山の医療を支えるために頑張りたいと思うキャリア形成支援を行うために、ぜひ学ぶべき研究手法だと思っています。

現在は地域医療や後進の育成に努めながら、産婦人科医としても患者さんをサポートしています。私自身のキャリア形成もまだまだこれからです。

ぜひ、富山大学で素晴らしい仲間に出会い、たくさん経験の積み重ねてください。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

富山大学で医師を志す



医学部 医学科 6年

古本 佳子

(富山第一高校 卒業)

皆さんこんにちは。目に留めていただきありがとうございます。医学科6年の古本佳子と申します。ここでは、私の経験を交えて富山大学で過ごす6年間をご紹介しますと思います。

まず、1年生の間は生命科学や基礎化学といった必修分野をはじめ、五福キャンパスで他の学部の学生と共に語学や人文社会科学系科目などの一般教養を学びます。授業の間の空き時間などを利用して、他の学部の人と交友を深める良い機会でした。

2年生では、「基礎医学」を学びます。人体の臓器の仕組みや構造の基礎となる部分を一から学ぶため、とても大変でしたが、友人と協力して切磋琢磨し乗り越えていきました。

3年生の時には、消化器や循環器など、それぞれの臓器についての疾患・異常についての「臨床医学」を学びました。臨床医学では医療の現場で必要となる内容を学べるので、覚えることは多かったのですが面白かったです。

4年生からは授業に加えてCBTの勉強をしていました。CBTはこれまで学んだことの総復習のような内容で、忘れていた部分も多く、友人と話すことで理解しながら勉強しました。

4年生の10月ごろからはStudent Doctorとして、大学病院での臨床実習が始まります。臨床実習では、実際に患者さんが訴える症状や検査から様々な疾患を考えて判断することの難しさや面白さを学びました。また、5年生から部活の大会が再開したので、夏休みには西医体などの大会に向けて練習に励んでいました。

今後は、国家試験に向けての勉強をしながら、将来どのような医師になりたいか、自分と向き合っていきたいと思っています。私は地域枠で入学したので、卒後は富山で研修を行い、患者さんに寄り添い、より正確で最善の医療を届けられる医師になりたいです。

富山大学医薬系キャンパスは学生同士の距離が親密で、先輩後輩や友人たちと支え合って過ごすアットホームな環境です。ぜひ富山で医師を目指す皆さんの参考になればと思います。



入学式



医学薬学祭



卒業式

大学院進学と現場看護師の両立



総合医薬学研究科
修士課程 2年
廣川 桃子
(2020年卒業)

私は現在、看護師として富山大学附属病院で勤務しながら、大学院の修士課程で学んでいます。私からは、看護現場で働きながら大学院進学を決めたきっかけについて話したいと思います。

まずは、学部を卒業し看護師1年目として勤務を始めました。ちょうどコロナウイルスが流行り始めた年です。勤務前に希望していた部署は全て外れ、配属された部署は1週間後にはコロナ対応病棟になるため、新人がコロナ対応するのは難しいだろう、とまた違う部署に配属。数か月経つとコロナ病棟へ配属が戻り…。自分自身、何をしているのか、何がしたいのか分からず1年目、2年目と月日が経ちました。周囲からは「かわいそう」と言われることがありましたが、そう考えるのではなく、私自身はコロナ禍がきっかけとなって、自分は何をしたいのか、どうなりたいかを見つめる機会になりました。看護現場で疑問に思うことを深く調べてみたい、同期や友人と愚痴を言っている内容を深掘りして看護の研究にしたら面白いのではないかと、どんな研究があるのか、と思うようになり、看護師3年目に大学院進学を決めました。

現場で出てきた疑問を研究で還元したり、研究から現場に繋げたりと双方にリンクできるような看護師になりたいと思っています。現場での学びも大学院での学びも興味深く、忙しくも楽しく学んでいます。きっかけはどこにあるかわかりませんが、広くアンテナを張って挑戦してみるのも良いと思います。看護師としても学生としても一緒に頑張っていきたいと思います！

学生時代の経験



信州大学医学部附属病院
看護師
星 美詞
(2022年卒業)

私が富山大学を選んだ理由は看護師、保健師、助産師の国家試験受験資格を取得できることです。また、富山県はくすりのまちとして有名であり、漢方についても学修できることから富山大学に進学を決めました。

県外から進学したため、大学では一人暮らしをしていました。授業、バイト、部活がある中で空いた時間で料理や掃除など家事をいつ、どのようにこなすかといった生活能力についても身についたと思います。

授業について私が特に興味があったことは解剖生理学です。選択授業に形態機能学演習があり、医学部の解剖学実習の献体を見せていただき、理解を深めることもできました。授業ではグループワークを行うことも多くあります。各々の得意不得意で役割を分けて作業をしたり、さまざまな意見を交換できる場となり、協働したり、広い視野を持つことができた機会でした。

実習は半年間の領域別実習、2週間の総合実習があります。私たちはコロナ禍での実習でしたが、大学附属病院での実習を行うことができました。実習では看護技術の実践、アセスメントだけでなく、患者さんひとりひとりに合わせた関わり方についても学びました。

私は現在手術室看護師として働いており、患者さんの安全、安楽を保持できるように看護をしています。手術部で患者さんとコミュニケーションをとれる時間は短いですが、短い時間の関わりでも、信頼関係を築き、不安を軽減できるように考えて患者さんに接しています。

学生時代に学ぶことは仕事をしていく上で基礎となる部分です。たくさん学び、経験して実りのある学生生活を送ってください。

オープンキャンパス



C a m p u s S c e n e



母性看護学実習

政令指定都市の保健師としての役割



堺市健康福祉局
健康部健康推進課 保健師

青山 裕紀
(2021年 卒業)

私は小学生の頃から小児科の
看護師になることが夢でした。地

元の富山大学看護学科に進学し、日々の授業や部活動を通して同期の仲間や先輩方に恵まれ充実した大学生活を過ごすことが出来ました。4年次に進級する際にはCOVID-19の流行に伴い、臨床実習は自宅や学内での実習になった領域もありました。しかし、どの実習においても先生方がその時の最善の方法を取ってくださり、私たち学生が臨床に出ても不安のないようにご配慮くださりました。

学部卒業後は富山大学の博士前期課程に進学し、大学院生として2年間過ごしました。きっかけは大学生時代から続いていた、小児科の診療所でのアルバイト経験です。子どもの発熱に対して不安に思っているお母さんが多いこと、そのお母さんたちの助けになりたいと思い進学、研究に取り組みました。研究に取り組んだ結果、これまで小児科の看護師として働きたいという夢から、得た知識を広く普及するために保健師として活躍したいと思うようになり、政令指定都市での保健師を目指しました。現在は政令指定都市である堺市の保健師として、成人のがん保健に取り組んでいます。希望とは異なりますが、大学院で学んだ統計学が役立ち、府や国への報告、事業効果の検証など行っています。直接市民の方と関わることは少ないですが、保健師という専門職としての視点を持ち市民の方々がさらに健康に関心を持っていただけるようになりたいと思っています。

富山大学で過ごした6年間は私にとってかけがえのないものであり、夢を叶えるために先生方をはじめ多くの方がサポートして下さる素敵な学校です。ぜひ皆さんも富山大学で充実した大学生活を送ってください！

楽しい看護学生生活



医学部 看護学科 3年

高橋ひより

(宮城県仙台向山高等学校 卒業)

私が富山大学を選んだのは、
看護師、保健師、養護教諭二種免
許に加えて助産師の資格を取る
ことができる点に魅力を感じたか
らです。私は小学生の頃から、助

産師として母親や産まれてくる赤ちゃんの看護をしたいと考えていました。高校生の時、産後の母親のケアに重点を置いて学びたいと考え、全国の様々な大学を調べたところ富山大学が最も自分に合っているのではないかと考え受験しました。

1年次の講義は教養科目を主とし、社会に出ていく上で必要となる知識等を養います。2、3年次は専門科目を通し看護に関わる知識と技術を身につけていきます。2年生の夏には1週間ほどの基礎看護実習があります。1人の患者さんを受け持ち、看護について臨床で学ぶことができます。

よく、看護学生は忙しくて大変そう、と言われることがあります。実際その通りです。ですが周りの友達と助け合い、目の前の患者さんからありがとうと言われると看護に関わって良かったと思います。また、学生だけでなく先生方も親身に寄り添って悩みに向き合ってくれるため、不安を持ち続けることなく一緒に解決していくことができます。大変なことも多くありますが、高校とは違って自由な環境が大学の魅力だと思います。空き時間に食堂や近くのお店でご飯を食べたり、バイトをしたりと、個人の時間の使い方で大学生活をより豊かなものにすることができます。また、杉谷の学生は部活に入る人が多く、私は弓道部に所属しています。部活では他学部の先輩や同期、後輩と関わるすることができます。兼部もできるので入学した際はぜひ見学に行ってみてください。

このように、富山大学では同級生、先輩方、先生方など本当に様々な人と関わるすることができます。そして、その中でキャンパスライフは「看護の勉強が大変」だけで終わらず、時間の使い次第でどこまでも充実したものにできます！皆さんの入学を富山大学でお待ちしております！



学内演習



総合実習

令和6年度入学状況

	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	入学者内訳			
					男子	女子	現役	既卒等
医学科	105	294	110	105	55	50	42	63
看護学科	80	294	86	80	4	76	76	4

令和7年度入試情報

※変更の可能性があるため令和7年度入試の詳細については、最新の募集要項をご確認ください。

募集人員(予定)

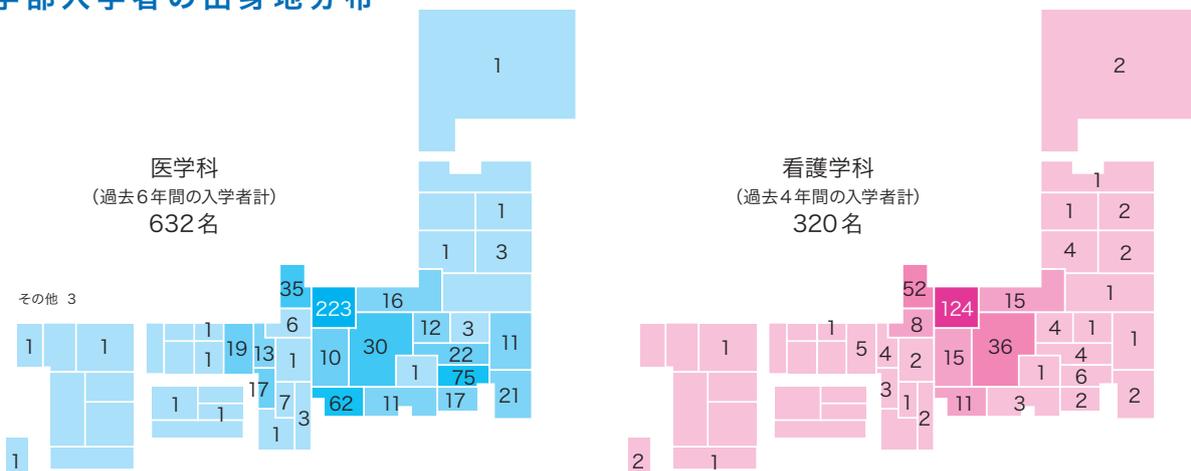
	一般選抜		特別選抜						私費外国人留学生選抜	計	編入学試験
	前期日程	後期日程	学校推薦型選抜Ⅱ	学校推薦型選抜Ⅱ「地域枠」	総合型選抜Ⅱ「富山県一般枠」	総合型選抜Ⅱ「富山県特別枠」	帰国生徒選抜	社会人選抜			
医学科	70	—	—	15	10	10(予定)	若干名	—	若干名	105	5(第2年次)
看護学科	50	10	20	—	—	—	若干名	若干名	若干名	80	10(第3年次)

入試日程

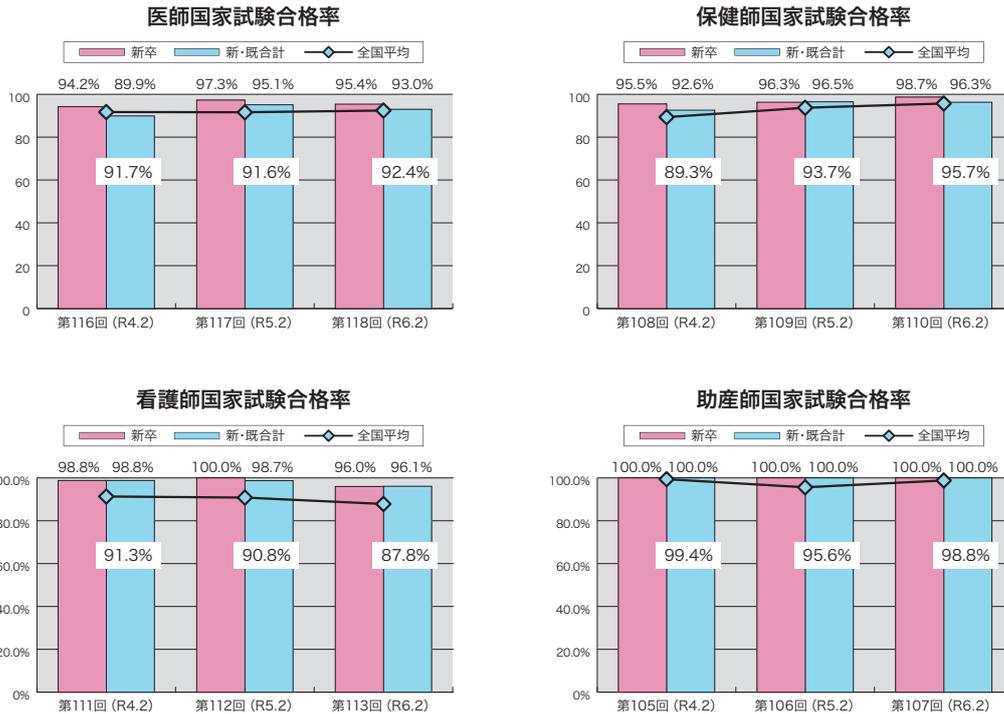
	入試区分	出願期間	試験	合格発表	入学手続締切
医学科	一般選抜(前期日程)	1月下旬~2月上旬	2月下旬	3月上旬	3月中旬
	特別選抜(学校推薦型選抜Ⅱ「地域枠」)	11月中旬~下旬	12月中旬	2月上旬	2月中旬
	総合型選抜Ⅱ(「富山県一般枠」)				
	総合型選抜Ⅱ(「富山県特別枠」)※				
	特別選抜(帰国生徒選抜)	1月下旬~2月上旬	2月下旬	3月上旬	3月中旬
	私費外国人留学生選抜	1月中旬~下旬	2月下旬		
	編入学試験(第2年次)	7月22日(月)~26日(金)	第1次:9月1日(日) 第2次:11月3日(日)	第1次:9月27日(金) 第2次:11月29日(金)	12月6日(金)
看護学科	一般選抜(前期日程)	1月下旬~2月上旬	2月下旬	3月上旬	3月中旬
	一般選抜(後期日程)		3月中旬	3月下旬	3月下旬
	特別選抜(学校推薦型選抜Ⅱ)	11月中旬~下旬	12月上旬	2月上旬	2月中旬
	特別選抜(帰国生徒選抜)			12月下旬	
	特別選抜(社会人選抜)				
	私費外国人留学生選抜	1月中旬~下旬	2月下旬	3月上旬	3月中旬
	編入学試験(第3年次)	7月1日(月)~5日(金)	7月29日(月)	8月30日(金)	9月6日(金)
大学入学共通テスト		試験:1月18日(土)・19日(日)			

※文部科学省の審査結果を受けて決定するものであり、今後変更となる場合があります。

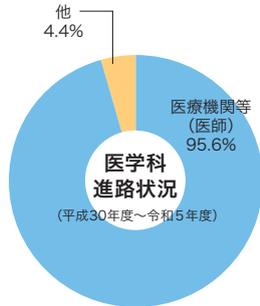
医学部入学者の出身地分布



国家試験合格状況 (過去3年)

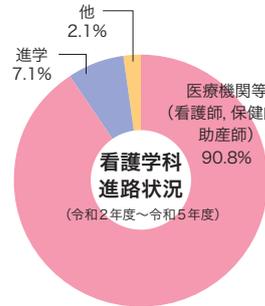


医学部卒業者の進路状況



《主な就職先》

- 【富山県内】
 ●富山大学附属病院 ●富山県立中央病院 ●富山赤十字病院 ●厚生連高岡病院 など
- 【富山県外】
 ●東京大学医学部附属病院 ●慶應義塾大学病院 ●東京医科歯科大学病院 ●筑波大学附属病院 ●北里大学病院 ●京都大学医学部附属病院 ●名古屋大学医学部附属病院 など

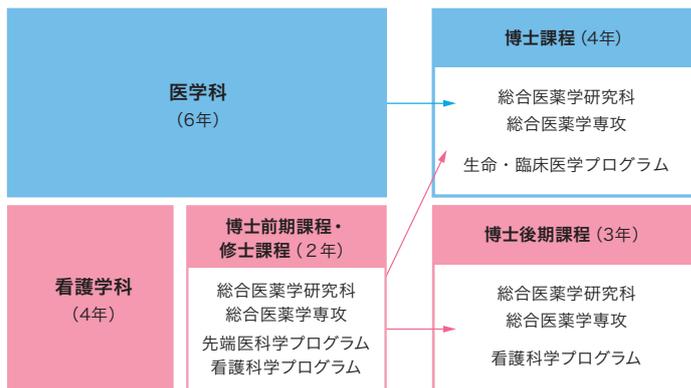


《主な就職先》

- 【富山県内】
 ●富山大学附属病院 ●富山赤十字病院 ●富山県立中央病院 ●富山県庁 ●富山市役所 など
- 【富山県外】
 ●石川県立中央病院 ●順天堂大学医学部附属順天堂医院 ●東京慈恵会医科大学附属病院 ●大阪大学医学部附属病院 ●京都大学医学部附属病院 ●名古屋大学医学部附属病院 ●信州大学医学部附属病院 ●長野県庁 など

大学院

構成



募集人員

博士前期課程・修士課程	
総合医薬学専攻	
先端医科学プログラム	6人
看護科学プログラム	8人
博士後期課程	
総合医薬学専攻	
看護科学プログラム	3人
博士課程	
総合医薬学専攻	
生命・臨床医学プログラム	30人



富山県へのアクセス

●東京から

【飛行機】

・羽田空港から富山空港へ／約1時間

【北陸新幹線】

・JR東京駅からJR富山駅へ／約2時間10分

●大阪から

【新幹線】

・JR大阪駅からJR敦賀駅へ、北陸新幹線に乗り換えてJR富山駅へ／約3時間

【自家用車】

・名神高速道路～米原JCT～北陸自動車道～富山

●名古屋から

【新幹線】

・JR名古屋駅からJR敦賀駅、北陸新幹線に乗り換えてJR富山駅へ／約3時間20分

【自家用車】

・名神高速道路～一宮JCT～東海北陸自動車道～北陸自動車道～富山

●北海道から

【飛行機】

・札幌・新千歳空港から富山空港へ／約1時間30分



富山駅から五福キャンパスへのアクセス

【市内電車】

・富山駅前「大学前」行き、終点「富山大学前」下車／約15分

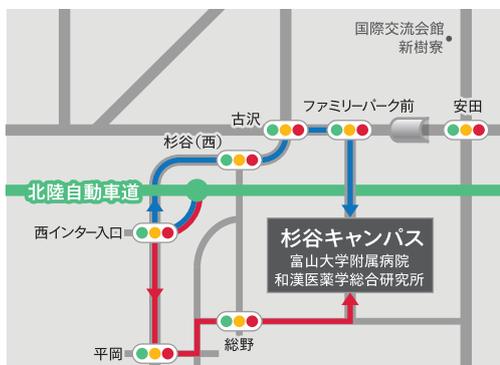
【路線バス】

・富山駅前「富山大学経由」(3番乗り場), 「富山大学前」下車／約10分

富山駅から杉谷キャンパスへのアクセス

【路線バス】

・富山駅前「富大附属病院循環」(3番乗り場), 「富山大学附属病院」下車／約30分



※杉谷キャンパス内の外来専用駐車場の台数に限りがあるため、ご来学にあたっては、なるべく公共の交通機関等をご利用くださいますようお願いいたします。

※杉谷キャンパス：医学部、薬学部、

富山大学附属病院、和漢医薬学総合研究所

※五福キャンパス：人文学部、教育学部、経済学部

理学部、工学部、都市デザイン学部、

※高岡キャンパス：芸術文化学部

※五艘地区：富山大学教育学部附属学校園

※寺町地区：国際交流会館、新樹寮



富山大学ウェブサイト
入試資料請求



YouTube 公式チャンネル



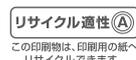
URL: <http://www.med.u-toyama.ac.jp>

富山大学 医学部

〒930-0194 富山県富山市杉谷2630

杉谷地区事務部学務課入試担当 Tel. 076-434-7138 E-mail:nyuushi@adm.u-toyama.ac.jp

※掲載情報は2024年4月現在のものです。最新情報はWebサイトにてご確認ください。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。